本文

第三種郵便物認可

官報

昭和十三年五月二十四日
第三千四百十四號　火曜日

目次抄錄

●勅令　關東局官制中改正　七四一
關東州漁業令　七四一
電力管理法ノ一部施行期日　七四四
臨時電力調査會官制廢止　七四五
●府令　臺灣臨時租稅措置令　七四五
●省令　採鑛獎勵金交付規則改正　七四六
●達　聯隊區司令部下士官判任文官定員區分ニ關スル件廢止　七四八
●告示　船橋都市計畫街路　七四八
米穀證券（第七十五回）支拂　七四八
分監ノ名稱及位置中改正　七四八
保安林解除　七四八
私設無線電信廢止其他　七四八
鐵道航空連帶運輸規則中改正　七四九
保安林編入　七五二
●彙報　昭和十二年度國庫歳入歳出現計（十三年三月末）　七六一
四月中ノ外國貿易概況　七六二
●在外公館報告　里昂生絲竝羽二重市況　七六三
日埃貿易情況　七六三

勅令

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ關東局官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十三年五月二十三日
內閣總理大臣　公爵　近衞文麿

勅令第三百六十二號

關東局官制中左ノ通改正ス

第十四條第一項中「事務官　專任二十一人」ヲ「事務官　專任二十二人」ニ、「屬　專任百九十八人」ヲ「屬　專任二百三十八人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ關東州漁業令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十三年五月二十三日
內閣總理大臣　公爵　近衞文麿

勅令第三百六十三號

關東州漁業令

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ漁業トハ公共ノ用ニ供スル水面又ハ之ト連接シテ一體ヲ成ス公共ノ用ニ供セザル水面ニ於テ營利ノ目的ヲ以テ水產動植物ヲ採捕シ又ハ養殖スル業ヲ謂フ

第二條　本令ニ於テ漁業者トハ漁業ヲ爲ス者及漁業權ヲ有スル者ヲ謂フ

第三條　公共ノ用ニ供スル水面ト連接シテ一體ヲ成ス公共ノ用ニ供セザル水面ノ占有者又ハ其ノ敷地ノ所有者ハ關東州廳長官ノ許可ヲ受ケ漁業ニ關シ之ガ利用ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第二章　漁業ノ免許、許可及屆出

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ヲ爲サントスル者ハ關東州廳長官ノ免許ヲ受クベシ

一　養殖漁業　一定ノ水面ニ於テ區劃其ノ他ノ施設ヲ爲シテ養殖ヲ爲ス漁業
二　定置漁業　一定ノ水面ニ於テ漁具ヲ定置シテ採捕ヲ爲ス漁業
三　定所集魚漁業　一定ノ水面ニ於テ水產動物ヲ集合セシムル裝置ヲ施シテ採捕ヲ爲ス漁業
四　定所曳網漁業　一定ノ水面ニ於テ繰返シ漁網ヲ曳揚ゲ又ハ曳寄セテ採捕ヲ爲ス漁業
五　定所敷網漁業　一定ノ水面ニ於テ繰返シ漁網ヲ敷設シ又ハ建設シテ採捕ヲ爲ス漁業

一定ノ水面ヲ專用シテ前項ニ該當スル以外ノ方法ニ依リテ爲ス漁業（專用漁業）ヲ爲サントスル者ハ滿洲國駐箚特命全權大使ノ免許ヲ受クベシ

前二項ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケタル漁業ヲ爲ス一定ノ水面ヲ漁場ト謂フ

第五條　專用漁業ハ漁業組合ガ其ノ地先水面ノ專用ヲ出願シタル場合ヲ除クノ外之ヲ免許セズ

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ヲ爲サントスル者ハ關東州廳長官ノ許可ヲ受クベシ

一　捕鯨業
二　母船式漁業
三　汽船「トロール」漁業
四　機船底曳網漁業
五　潛水器漁業
六　空釣繩漁業
七　海藻採取業

大使ハ水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ニ規定スルモノノ外許可ヲ受ケシムベキ漁業ヲ定ムルコトヲ得

第七條　大使又ハ關東州廳長官ハ必要アリト認ムルトキハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ爲スニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第八條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ關東州廳長官（專用漁業ニ在リテハ大使）ハ免許シ若ハ許可シタル漁業ヲ制限シ若ハ停止シ又ハ漁業ノ免許若ハ許可ヲ取消スコトヲ得

一　水產動植物ノ蕃殖保護ノ爲必要アルトキ
二　國防其ノ他軍事上必要アルトキ
三　船舶ノ航行、碇泊繫留、水底電線ノ敷設其ノ他公益上必要アルトキ
四　漁業者本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ制限、條件ニ違反シタルトキ

第九條　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル日ヨリ一年間其ノ漁業ニ從事スル者ナキトキ又ハ引續キ二年間休業シタルトキハ關東州廳長官（專用漁業ニ在リテハ大使）ハ其ノ免許又ハ許可ヲ取消スコトヲ得

錯誤ニ因リ免許又ハ許可ヲ與ヘタルトキ亦前項ニ同ジ

第一項ノ期間中ニハ關東州廳長官（專用漁業ニ在リテハ大使）ノ許可ヲ受ケ漁業ヲ爲サザル期間及前條第一號乃至第三號ノ規定ニ依リ又ハ第三十三條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セズ

第十條　第四條第一項及第六條ニ規定スル漁業ニ非ザル漁業ヲ爲サントスル者ハ民政署長（大連市ノ區域ニ在リテハ關東州廳長官）ニ屆出ヅベシ

第3414号　本文

第3414号 本文

第三章　漁業權

第十一條　第四條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ヲ受ケタル者ハ漁業權ヲ取得ス

漁業權ノ存續期間ハ免許ノ日ヨリ二十年以内ニ於テ免許ノ際大使又ハ關東州廳長官之ヲ定ム

關東州廳長官（專用漁業權ニ在リテハ大使）ハ漁業權者ノ申請ニ依リ漁業權ノ存續期間滿了ノ日ヨリ二十年以内ニ於テ其ノ期間ノ延長ヲ許可スルコトヲ得

第十二條　漁業權ハ物權トシ土地ニ關スル規定ヲ準用ス

民法第二編第九章ノ規定ハ漁業權及之ヲ目的トスル權利ニ之ヲ適用セズ

第十三條　大使ハ漁業權保護ノ爲保護區域ヲ設クルコトヲ得

保護區域内ニ於テ漁業權ノ行使ノ妨害ト爲ルベキ漁業ノ制限又ハ禁止ニ關スル事項ハ大使之ヲ定ム

第十四條　漁業權ヲ抵當ト爲シタル場合ニ於テ其ノ漁場ニ定著シタル工作物ハ民法第三百七十條ノ規定ノ準用ニ付テハ漁業權ニ附加シテ之ト一體ヲ爲シタル物ト看做ス

第十五條　本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ漁業權者ニ生ジタル權利義務ハ漁業權ノ處分ニ從フ

第十六條　漁業權ハ關東州廳長官（專用漁業權ニ在リテハ大使）ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ分割シ其ノ他變更スルコトヲ得ズ

專用漁業ノ漁業權ハ大使ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ處分シ、擔保ニ供シ又ハ貸付スルコトヲ得ズ

第十七條　漁業權ハ登錄シタル權利者ノ同意アルニ非ザレバ之ヲ分割シ其ノ他變更シ又ハ拋棄スルコトヲ得ズ

第十八條　漁業權ノ各共有者ハ他ノ共有者三分ノ二以上ノ同意アルニ非ザレバ其ノ持分ヲ處分シ又ハ之ヲ擔保ニ供スルコトヲ得ズ

第十九條　前條ノ場合ニ於テ共有者ノ住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ因リ之ガ同意ヲ求ムルコト能ハザルトキハ大使ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ公告ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算シ三十日以内ニ異議ノ申立ナキトキハ其ノ末日ニ於テ同意ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十條　漁業ノ免許ヲ取消シタルトキハ大使又ハ關東州廳長官ハ遲滯ナク之ヲ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ通知スベシ

第二十一條　第八條第四號及第九條第一項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ノ取消アリタル場合ニ於テハ漁業權ニ付登錄シタル先取特權者及抵當權者ハ前條ノ通知ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ起算シ三十日以内ニ漁業權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ競賣ヲ請求シタル場合ニ於テハ漁業權ハ漁業ノ免許ヲ取消シタル日ヨリ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

競賣ニ依ル賣得金ハ競賣ノ費用及第一項ノ權利者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス

競落ヲ許ス決定ガ確定シタルトキハ漁業ノ免許ノ取消ハ其ノ效力ヲ生ゼザリシモノト看做ス

第二十二條　專用漁業ノ漁業權者ハ從來ノ慣行ニ依リ其ノ漁場ニ於テ漁業ヲ爲ス者ノ入漁ヲ拒ムコトヲ得ズ

第二十三條　前條ノ漁業權者ハ入漁ヲ爲ス者ニ對シ關東州廳長官ノ認可ヲ受ケ入漁料ヲ請求スルコトヲ得但シ別段ノ慣行アル場合ヲ除クノ外入漁料算定ノ基礎ト爲ルベキ期間入漁ヲ爲サザル場合ニ於テハ其ノ入漁ヲ爲サザル期間ニ對スル入漁料ハ之ヲ請求スルコトヲ得ズ

第二十四條　水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業ノ秩序維持ノ爲必要アリト認ムルトキハ第二十二條ノ漁業權者及入漁ヲ爲ス者ハ協議ニ依リ其ノ漁場ニ於ケル漁業ニ關スル制限ヲ爲スコトヲ得

漁業權者又ハ入漁ヲ爲ス者前項ノ協議又ハ第五十一條ノ裁定ニ依ル制限ニ違反シタルトキハ大使ハ免許シタル漁業ヲ制限シ、停止シ若ハ漁業ノ免許ヲ取消シ又ハ入漁ヲ制限シ、停止シ若ハ禁止スルコトヲ得

第二十五條　入漁ヲ爲ス者入漁料ノ支拂ヲ怠リタルトキハ其ノ支拂ヲ完了スルニ至ル迄漁業權者ハ之ガ入漁ヲ停止スルコトヲ得

入漁ヲ爲ス者引續キ三年以上入漁料ノ支拂ヲ怠リタルトキハ漁業權者ハ爾後其ノ入漁ヲ拒ムコトヲ得

第二十六條　第七條ノ規定ニ依リ專用漁業ノ免許ニ附シタル制限若ハ條件又ハ第八條第一號乃至第三號ノ規定ニ依ル專用漁業ノ制限若ハ停止ハ入漁ヲ爲ス者ノ入漁ニ附シタル制限、條件又ハ停止ト看做ス

入漁ヲ爲ス者前項ノ規定ニ依ル制限、條件又ハ停止ニ違反シタルトキハ關東州廳長官ハ入漁ヲ制限シ、停止シ又ハ禁止スルコトヲ得

第二十七條　漁業權竝ニ之ヲ目的トスル先取特權、抵當權及賃借權ノ設定、保存、移轉、變更、消滅及處分ノ制限竝ニ入漁ニ關スル事項ハ漁業權原簿ニ之ヲ登錄ス

漁業權原簿ノ登錄ハ登記ニ代ハルモノトス

登錄ニ關スル規程ハ大使之ヲ定ム

第四章　土地ノ使用

第二十八條　漁業者ハ左ニ揭グル目的ノ爲必要アルトキハ關東州廳長官ノ許可ヲ受ケ他人ノ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ヲ使用シ又ハ立木若ハ土石ノ除去ヲ制限スルコトヲ得

一　漁場ノ標識ノ設置

二　魚見若ハ漁業ニ關スル信號又ハ之ニ必要ナル施設物ノ設置

三　漁業ニ必要ナル目標ノ保存又ハ設置

前項ノ規定ニ依リ他人ノ土地又ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ヲ使用セントスルトキハ其ノ所有者及占有者ニ豫メ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第二十九條　前條第一項ノ目的又ハ漁業ニ關スル測量若ハ調査ノ爲必要アルトキハ漁業者又ハ漁業ノ免許ヲ受ケントスル者ハ關東州廳長官ノ許可ヲ受ケ他人ノ土地ニ立入リ又ハ已ムコトヲ得ザルトキハ立木其ノ他ノ障碍物ヲ變更若ハ除去スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入ラントスルトキハ土地ノ占有者ニ、立木其ノ他ノ障碍物ヲ變更又ハ除去セントスルトキハ其ノ所有者及占有者ニ豫メ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第三十條　住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ因リ第二十八條第二項又ハ前條第二項ノ通知ヲ爲スコト能ハザルトキハ大使ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタル場合ニ於テハ公告ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算シ三日目ニ於テ通知ヲ爲シタルモノト看做ス

第五章　蕃殖保護及漁業取締

第三十一條　公共ノ用ニ供スル水面、公共ノ用ニ供スル水面ト連接シテ一體ヲ成ス公共ノ用ニ供セザル水面其ノ他大使ノ指定シタル公共ノ用ニ供セザル水面ニ於テハ水產動植物ヲ採捕スル爲有毒物、爆發物又ハ電流ヲ使用スルコトヲ得ズ但シ鯨其ノ他ノ海獸ヲ捕獲スル爲爆發物ヲ銛ニ裝置シテ使用スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ違反シテ採捕シタル物ハ之ヲ販賣又ハ交換ノ目的ヲ以テ讓受クルコトヲ得ズ

第三十二條　關東州廳長官ハ漁業者ニ漁場又ハ漁具ノ標識ノ設置ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條　本令ニ規定スルモノノ外大使ハ水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

前項ノ命令ニハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル採捕物、養殖物、其ノ製品、船舶（屬具ヲ含ム）、漁具及副漁具ニシテ刑法第十九條第一項ノ物ノ沒收竝ニ其ノ沒收スベキ物件ノ價格ニ相當スル金額ノ追徵ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三十四條　海軍艦艇乘組武官、警察官吏竝ニ大使ノ指定シタル官吏及關東州地方待遇職員ハ漁業ヲ監督シ必要アリト認ムルトキハ船舶、店舖其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿、書類其ノ他ノ物件ヲ檢査スルコトヲ得

第三十五條　前條ニ規定スル官吏及職員ハ漁業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索若ハ之ニ必要ナル處分ヲ爲シ、犯則嫌疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪事實ヲ證明スベキ帳簿、書類其ノ他ノ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ取調ノ必要上已ムコトヲ得ザルトキハ犯則嫌疑者ニ同行又ハ其ノ乘組ミタル船舶ノ廻航ヲ命ズルコトヲ得

第三十六條　前二條ノ搜索、尋問、差押及臨檢ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ、前條第一項ノ搜索ニ必要ナル處分ニ關シテハ同法中搜索ニ關スル規定ヲ、前條第二項ノ同行及廻航ニ關シテハ同法第四條及第五條ノ規定ヲ準用ス但シ同法第四條ノ規定ハ海軍艦艇乘組武官及警察官吏ニ之ヲ準用セズ

第六章　漁業組合

第三十七條　一定ノ地區内ニ居住スル漁業者ハ漁業組合ヲ設立スルコトヲ得

漁業組合ノ地區ハ市又ハ會ノ區域ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十八條　漁業組合ヲ設立セントスルトキハ發起人ニ於テ規約ヲ定メ組合ノ地區タルベキ區域内ニ居住スル漁業者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ大使ノ認可ヲ受クベシ

漁業組合ハ前項ノ認可ヲ受ケタル時成立ス

第三十九條　漁業組合成立シタルトキハ組合ノ地區内ニ居住スル漁業者ハ其ノ組合ノ組合員トス

第四十條　漁業組合ハ法人トス

漁業組合ハ漁業權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ組合員ノ漁業又ハ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス

漁業組合ハ漁業ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十一條　漁業組合ノ組合員ハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合ノ取得シ又ハ貸付ヲ受ケタル專用漁業權ノ範圍内ニ於テ各自漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス

第四十二條　漁業組合ニハ所得稅ヲ課セズ

第四十三條　漁業組合ノ設立ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

登記シタル事項ノ變更ハ其ノ登記ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第四十四條　漁業組合ノ經費ハ關東州廳長官ノ認可ヲ受ケ組合員ニ之ヲ賦課スルコトヲ得

漁業組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徵收スルコトヲ得

漁業組合ハ組合員ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四十五條　大使又ハ關東州廳長官ハ何時ニテモ漁業組合ノ事業ニ關スル報告ヲ徵シ又ハ事業及財產ノ狀況ヲ檢査シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　漁業組合ノ決議又ハ役員ノ行爲ニシテ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ制限、條件ニ違反シタルトキ、規約ニ違反シタルトキ又ハ其ノ他公益ヲ害シ又ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ大使ハ左ニ揭グル第四號ノ處分ヲ、關東州廳長官ハ第一號乃至第三號ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一　決議ノ取消

二　役員ノ解任

三　事業ノ停止

四　解散

第四十七條　漁業組合ガ第四十條第三項ノ規定ニ違反シタル場合ニ於テハ其ノ役員ヲ三百圓以下ノ過料ニ處ス

本令ニ基キテ發スル漁業組合ニ關スル命令ニハ組合ガ之ニ違反シタル場合ニ於テ其ノ役員ヲ三百圓以下ノ過料ニ處スル規定ヲ設クルコトヲ得

前二項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第四十八條　本章ニ規定スルモノノ外漁業組合ノ設立、管理、監督、分合、解散、清算、登記其ノ他漁業組合ニ關シ必要ナル事項ハ大使之ヲ定ム

第七章　補償及裁定

第四十九條　第二十八條第一項又ハ第二十九條第一項ニ規定スル行爲ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ大使ノ定ムル所ニ

依リ漁業者又ハ漁業ノ免許ヲ受ケントスル者之ヲ補償スベシ

第五十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依ル補償金ハ之ヲ供託スベシ

一　補償ヲ受クベキ者補償金ノ受領ヲ拒ミ又ハ忌避シタルトキ

二　補償ヲ受クベキ者又ハ其ノ住所若ハ居所不明ナルトキ

三　補償ノ目的タル土地物件ニ付登記シタル先取特權者又ハ抵當權者アルトキ但シ先取特權者又ハ抵當權者ノ同意アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ補償ノ目的タル土地物件ガ訴訟ノ目的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第一條第三號又ハ前項ノ規定ニ依リ補償金ヲ供託シタル場合ニ於テハ登記シタル先取特權者若ハ抵當權者又ハ訴訟當事者ハ供託シタル金錢ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第五十一條　第二十四條第一項ノ協議調ハザルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ漁業權者又ハ入漁ヲ爲ス者ハ關東州廳長官ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

第五十二條　漁場ノ區域、漁業權ノ範圍、保護區域、漁業ノ方法又ハ入漁ノ慣行ニ付爭アルトキハ其ノ關係人ハ大使ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

第五十三條　本章ニ規定スルモノノ外補償及裁定ニ關シ必要ナル事項ハ大使之ヲ定ム

第八章　罰則

第五十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　免許ニ依ラズシテ第四條第一項又ハ第二項ノ漁業ヲ爲シタル者

二　第七條、第八條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル制限、條件、停止又ハ禁止ニ違反シテ第四條第一項若ハ第二項ノ漁業又ハ入漁ヲ爲シタル者

三　詐欺ノ手段ヲ以テ第四條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル免許ヲ受ケタル者

第五十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ捕鯨業、母船式漁業又ハ汽船「トロール」漁業ニ付テハ五千圓以下ノ罰金ニ、機船底曳網漁業ニ付テハ二千圓以下ノ罰金ニ、潜水器漁業、空釣繩漁業、海藻採取業又ハ第六條第二項ノ規定ニ依ル漁業ニ付テハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　許可ヲ受ケズシテ第六條ノ漁業ヲ爲シタル者

二　第七條又ハ第八條ノ規定ニ依ル制限、條件、停止又ハ禁止ニ違反シテ第六條ノ漁業ヲ爲シタル者

三　詐欺ノ手段ヲ以テ第六條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル者

第五十六條　屆出ヲ爲サズシテ第十條ノ漁業ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第五十七條　漁業權又ハ第四十一條ニ規定スル漁業組合ノ組合員ノ漁業ヲ爲スノ權利ヲ侵害シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ズ

第五十八條　第三十一條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ、同條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第五十九條　第五十四條、第五十五條及第五十七條第一項ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル採捕物、養殖物、其ノ製品、船舶(屬具ヲ含ム)、漁具及副漁具ニシテ刑法第十九條第一項ノ物ハ之ヲ沒收ス

前條ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル採捕物、養殖物、其ノ製品、船舶(屬具ヲ含ム)、漁具、副漁具、有毒物、爆發物及電氣器具(屬具ヲ含ム)ニシテ刑法第十九條第一項ノ物ハ之ヲ沒收ス

前二項ノ場合ニ於テ沒收スベキ物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第一項及第二項ニ規定スルモノヲ除クノ外第五十四條、第五十五條、第五十七條第一項及前條ノ場合ニ於テハ刑法第十九條ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第六十條　漁場若ハ漁具ノ標識ヲ移轉シ、損壞シ若ハ隱蔽シタル者又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ漁場若ハ漁具ノ標識ノ效用ヲ失ハシメタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六十一條　第三十四條、第三十五條第一項又ハ第三十六條ノ規定ニ依リ爲シタル職務ノ執行ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十五條第二項ノ規定ニ依ル同行又ハ廻航ノ命ニ從ハザル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十二條　營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル罰則ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第六十三條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル罰則ヲ營業者ノ業務ニ關シ之ニ適用スベキ場合ニ於テ營業者法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六十四條　前二條ノ場合ニ於テハ懲役ノ刑ヲ科スルコトヲ得ズ

附　則

本令施行ノ期日ハ大使之ヲ定ム

本令施行ノ際現ニ關東州漁業規則ニ依リ許可ヲ得又ハ屆出ヲ爲シ漁業ヲ營ム者ハ本令ノ規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依リ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得

朕電力管理法ノ一部施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十三年五月二十三日

內閣總理大臣　公爵　近衞　文麿
遞信大臣　永井柳太郎

勅令第三百六十四號

電力管理法第五條ノ規定ハ昭和十三年五月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

昭和十三年（四月六日公布）法律第七十六號電力管理法抄錄

第五條　發電及送電ノ豫定計畫、電力料金其ノ他政府ノ管理ニ關スル發電及送電ニ關スル重要事項ニ付政府ノ諮問ニ應ズル爲電力審議會ヲ置ク

電力審議會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

朕臨時電力調査會官制廢止ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十三年五月二十三日

內閣總理大臣　公爵　近衞　文麿
遞信大臣　永井柳太郎

勅令第三百六十五號

臨時電力調査會官制ハ之ヲ廢止ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

律　令

臺灣臨時租稅措置令大正十年法律第三號ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス

昭和十三年三月三十一日

臺灣總督　小林　躋造

律令第五號

臺灣臨時租稅措置令

第一條　當分ノ內本令ニ依リ田畑及養魚池ノ地租、營業稅竝ニ鑛產稅ヲ輕減又ハ免除ス

第二條　個人ノ田、畑及養魚池ノ自作ノ所得ガ平常所得ニ對シ五割以上減少シタルトキハ其ノ納付スル田、畑及養魚池ノ地租ヲ輕減ス

第三條　田、畑及養魚池ノ地租ノ輕減額ハ田、畑及養魚池ノ自作ノ所得ガ平常所得ニ對シ減少シタル割合ニ從ヒ左ノ割合ノ金額トス

減少割合ガ五割以上七割未滿ナルトキ
田、畑及養魚池ノ地租額ノ三割

同七割以上ナルトキ
田、畑及養魚池ノ地租額ノ五割

前項ノ輕減額ハ自作ノ田、畑及養魚池ニ對スル其ノ年分ノ地租額ニ付之ヲ計算ス

第四條　平常所得ハ昭和十一年以前三年ノ田、畑及養魚池ノ自作ノ平均所得ニ依ル但シ昭和十二年一月一日ヨリ新ニ田、畑又ハ養魚池ノ自作ヲ開始シタル者ニ付テハ昭和十二年ノ所得ニ依ル

前項ニ規定スルモノヲ除クノ外平常所得ノ算定ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第五條　田、畑及養魚池ノ地租ノ輕減ヲ受ケントスル者ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ政府ニ申請スベシ

第六條　田、畑及養魚池ノ地租ノ輕減ヲ申請シタル者ノ田、畑及養魚池ノ自作ノ所得ハ政府ノ調査ニ依リ其ノ年第三種ノ所得金額ヲ決定スル時期ニ於テ政府之ヲ確定ス

第七條　臺灣所得稅令第十五條第一項第六號ノ規定及同條第四項中相續シタル資產ノ所得計算ニ關スル規定ハ本令ニ依ル田、畑及養魚池ノ自作ノ所得ノ計算ニ付之ヲ準用ス

第八條　營業稅ノ課稅標準額ガ平常課稅標準額ニ對シ二割五分以上減少シタルトキハ其ノ納付スル營業稅ヲ輕減ス

第九條　營業稅ノ輕減額ハ營業稅ノ課稅標準額ガ平常課稅標準額ニ對シ減少シタル割合ニ從ヒ左ノ割合ノ金額トス

減少割合ガ二割五分以上三割五分未滿ナルトキ
營業稅額ノ二割

同三割五分以上五割未滿ナルトキ
營業稅額ノ三割

同五割以上七割未滿ナルトキ
營業稅額ノ四割

同七割以上ナルトキ
營業稅額ノ五割

第十條　平常課稅標準額ハ臺灣營業稅令所定ノ方法ニ準ジ計算シタル昭和十一年以前三年ノ平均課稅標準額相當額ニ依ル但シ昭和十二年一月一日ヨリ新ニ營業ヲ開始シタルモノニ付テハ昭和十二年ノ課稅標準額ニ依ル

前項ニ規定スルモノヲ除クノ外平常課稅標準額ノ算定ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第十一條　營業稅ノ輕減ヲ受ケントスル者ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ政府ニ申請スベシ

第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ營業稅ヲ輕減セズ

一　營業稅額ガ二百圓以上ト爲ルトキ

二　法人ノ資本金額ガ二十萬圓以上ナルトキ

三　法人ノ營業ノ利益ガ資本金額ニ對シ年百分ノ七ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキ

臺灣所得稅令第六條乃至第八條ノ規定ハ前項ノ資本金額ノ計算ニ付之ヲ準用ス

第十三條　田、畑及養魚池ノ自作ノ所得又ハ營業稅ノ課稅標準額ニ付當初確定額ニ比シ減損アル場合ニ於テハ政府ハ申請ニ依リ第二條乃至第四條又ハ第八條乃至第十條及第十二條ノ規定ニ準ジ田、畑及養魚池ノ地租又ハ營業稅ヲ輕減シ又ハ其ノ輕減稅額ヲ變更スルコトヲ得

前項ノ規定ハ田、畑及養魚池ノ自作ノ所得ガ所得確定後相續又ハ贈與ニ因リ減損シタル場合又ハ營業稅ノ課稅標準額ガ課稅標準額決定後營業繼續ニ因リ減損シタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第一項ノ申請ハ翌年一月三十一日迄ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十四條　前條ノ場合ニ於テ營業稅ノ課稅標準額ガ當初決定額ニ比シ四分ノ一以上ノ減損ト爲ルトキハ其ノ實際課稅標準額ニ付前條ノ規定ニ依ル輕減又ハ變更ヲ爲ス

第十五條　第十三條第一項ノ申請アリタルトキハ政府ハ其ノ處分ノ確定スルニ至ル迄稅金ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第十六條　昭和十三年一月一日以後鑛區ノ變更、分割又ハ合併ニ依ラズシテ設定セラレタル鑛業權ニ基キ其ノ鑛區ヨリ產出シタル鑛物ニシテ臺灣總督ノ指定スルモノニハ鑛產稅ヲ課セズ

第十七條　臺灣總督ノ指定スル鑛物又ハ其ノ鑛產物ノ每年ノ產出數量ガ昭和十二年中ニ於ケル產出數量ヲ超過シタル鑛業ノ鑛業人ニハ其ノ超過部分(鑛物及鑛產物ノ產出數量ガ何レモ超過シタルトキハ其ノ超過割合ノ大ナル一方ノ超過部分)ニ付鑛產稅ヲ免除ス

自己ノ採掘シタル鑛物ト他人ヨリ取得シタル鑛物トヲ合併シ製錬スル場合ニ於テ其ノ取得鑛物ヨリ產出シタル鑛產物ノ數量ハ前項ノ鑛產物ノ產出數量ニ之ヲ算入セズ但シ其ノ取得鑛物ノ數量ガ自己ノ採掘シタル鑛物ノ數量ヲ超過スルトキハ其ノ超過部分ノ鑛物ヨリ產出スル鑛產物ノ數量ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第3414号 本文

昭和十二年以後鑛業ノ全部又ハ一部ノ繼續アリタル場合ニ於テハ當該部分ヨリ昭和十二年中ニ産出シタル鑛物又ハ其ノ鑛産物ノ數量ハ之ヲ繼續者ノ昭和十二年中ノ鑛物又ハ其ノ鑛産物ノ産出數量ニ加算シ被繼續者ノ昭和十二年中ノ鑛物又ハ其ノ鑛産物ノ産出數量ヨリ除算シ第一項ノ超過部分ヲ計算ス

前項ノ繼續アリタル場合ニ於テハ被繼續者ガ當該部分ヨリ其ノ年ニ於テ産出シタル鑛物又ハ其ノ鑛産物ノ數量ハ之ヲ繼續者ノ其ノ年ニ於ケル鑛物又ハ鑛産物ノ産出數量ト看做ス

第十八條　本令ニ依リ輕減又ハ免除セラルル租税ハ法令上ノ納税資格要件ニ關シテハ輕減又ハ免除セラレザルモノト看做ス

附　則

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

田畑及養魚池ノ地租、營業税竝ニ鑛産税ニ付テハ昭和十三年分ヨリ本令ヲ適用ス

本令ハ支那事變終了後其ノ年ノ翌年十二月三十一日迄ニ之ヲ廢止スルモノトス

省令

◉商工省令第二十五號

探鑛奬勵金交付規則左ノ通改正ス

昭和十三年五月二十四日

商工大臣　吉野　信次

探鑛奬勵金交付規則

第一條　商工大臣ハ銅鑛、鉛鑛、錫鑛、安質母尼鑛、水銀鑛、亞鉛鑛、鐵鑛、硫化鐵鑛、格魯謨鐵鑛、滿俺鑛、重石鑛、水鉛鑛、ニッケル鑛又ハコバルト鑛ノ探鑛ヲ目的トシテ坑道ヲ掘鑿セントスル鑛業權者ニ對シ本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍內ニ於テ奬勵金ヲ交付ス

青森縣、岩手縣、宮城縣、秋田縣、山形縣又ハ福島縣ニ於テ銀鑛、蒼鉛鑛、砒鑛、石炭、亞炭、硫黄、石膏又ハ重晶石ノ探鑛ヲ目的トシテ坑道ヲ掘鑿セントスル鑛業權者ニ對シ亦前項ニ同ジ

第二條　奬勵金ノ額ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル金額ヲ限度トス

一　水平坑道ニ在リテハ延長一メートルニ付二十圓

二　竪坑ニ在リテハ深度一メートルニ付四十圓

第三條　奬勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ様式第一號ニ依ル申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第四條　奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ商工大臣ノ承認ヲ受クベシ

第五條　奬勵金ハ探鑛作業ガ豫定ノ延長若ハ深度ニ達シタル後之ヲ交付ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　奬勵金ハ其ノ交付ヲ受ケタル目的以外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第七條　奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ハ探鑛日誌ヲ備ヘ掘鑿ノ狀況及地質鑛床ノ狀態ヲ記載スベシ

第八條　奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ハ探鑛日誌ニ基キ毎月十日迄ニ其ノ前月分ノ掘鑿ノ狀況及地質鑛床ノ狀態ニ關シ様式第二號ニ依ル報告書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第九條　重大ナル事故ニ因リ探鑛作業ニ支障ヲ來シタルトキハ奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ハ其ノ概要ヲ遲滯ナク商工大臣ニ報告スベシ

第十條　奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者探鑛作業ヲ休止シ又ハ廢止セントスルトキハ豫メ商工大臣ノ承認ヲ受クベシ

第十一條　奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者鑛業權ヲ移轉シ承繼人ニ於テ探鑛作業ヲ繼續セントスルトキハ當事者連署ノ上商工大臣ノ承認ヲ受クベシ

第十二條　商工大臣必要アリト認ムルトキハ奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ對シ探鑛作業ノ中止又ハ探鑛作業計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第十三條　探鑛作業ガ豫定ノ延長又ハ深度ニ達シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ商工大臣ニ屆出ヅベシ

第十四條　奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者奬勵金ノ交付ヲ受ケントスルトキハ様式第三號ニ依ル申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十五條　商工大臣必要アリト認ムルトキハ奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ探鑛作業又ハ會計ニ關シ報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ探鑛作業ノ狀況ノ檢査ヲ爲スコトアルベシ

第十六條　奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ奬勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ商工大臣ハ奬勵金交付ノ指令ヲ取消シ、奬勵金ノ額ヲ減少シ又ハ既ニ交付シタル奬勵金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一　本則又ハ本則ニ基キテ命ジタル事項ニ違反シタルトキ

二　奬勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

三　探鑛作業計畫ヲ變更シタルトキ

四　探鑛作業ヲ休止シ又ハ廢止シタルトキ

五　探鑛作業中止ノ命令ヲ受ケタルトキ

六　不正ノ行爲又ハ怠慢アリタルトキ

第十七條　本則ノ規定ニ依リ商工大臣ニ提出スル書類ハ正副二通トシ其ノ鑛山ノ所在地ヲ管轄スル鑛山監督局長ヲ經由スベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

様式第一號

何鑛探鑛奬勵金交付申請書

鑛區所在地
鑛區番號
登錄年月日（試掘鑛區ニ限リ記載スルコト）
鑛山名
登錄鑛種名

右鑛區ニ於テ何鑛探鑛作業致度候條探鑛奬勵金　圓交付相成度別紙關係書類竝ニ探鑛作業計畫ヲ示シタル鑛區圖寫及圖面相添此段及申請候也

年　月　日

住所
申請人　氏　名　印
（鑛業權者二人以上ノ場合ハ連署スルコト）

商工大臣宛

備考

一　鑛區所在地ヲ明示シタル陸地測量部五萬分ノ一地形圖ヲ添附スルコト

二　探鑛作業計畫ヲ示シタル鑛區圖寫及圖面ハ左ノ要領ニ依リ之ヲ調製スルコト

（一）　鑛區圖寫

關係坑口ノ位置ヲ示シ附近ノ標杭ニ結測シ其ノ方位及距離ヲ記入スルコト

（二）　圖面

（イ）　平面圖及截面圖トシテ縮尺ハ五百分ノ一乃至三千分ノ一トスルコト

（ロ）　鑛床及露頭ト探鑛坑道トノ關係ヲ示スコト

（ハ）　坑口ノ位置及坑道ヲ示シ坑道掘進ノ方位及坑道ノ延長又ハ深度ヲ記入スルコト

（ニ）　坑道掘鑿開始箇所ト坑口トノ距離ヲ記入スルコト但シ新ニ開坑スル場合ニ在リテハ坑口ト最寄ノ基點トヲ結測シ其ノ方位及距離ヲ記入スルコト

（ホ）　稼行シタル坑道ヲ記入スルコト

探鑛作業計畫書

一　地質鑛床ノ狀態及從來ノ稼行狀況

（一）　地質鑛床ノ狀態

（鑛床ノ狀態ニ付テハ其ノ種類、形狀、走向、傾斜、幅、延長及深サノ概要、露頭ノ狀況竝ニ品位ヲ記載スルコト）

（二）　從來ノ稼行狀況

（イ）　沿革ノ概要

（鑛業權ノ移動、鑛區ノ增減、資本投下ノ狀況等ヲ記載スルコト）

（ロ）　從來ノ探鑛及探鑛作業ノ狀況

（從來ノ掘鑿狀況、掘鑿セル坑道ノ延長等ヲ記載シ且坑內圖ヲ添附スルコト）

（ハ）　最近三年間ニ産出シタル粗鑛及精鑛ノ各年ニ於ケル種類別品位及數量竝ニ其ノ處分狀況

（休業中ノ鑛山ニ在リテハ休業前ノモノニ付記載スルコト）

（ニ）　其ノ他參考トナルベキ事項

二　探鑛作業計畫

（一）　掘鑿スベキ坑道

（イ）　水平坑道

坑道番號	坑道名	探鑛作業ノ目的	掘鑿開始箇所	坑道掘進方位	坑道ノ大サ(米)	掘鑿方法	當該年度ノ豫定延長(米)	完成豫定期間
計						手掘		
						電鑿掘		
						空鑿掘		

（ロ）　竪坑

坑道番號	坑道名	探鑛作業ノ目的	掘鑿開始箇所	坑道ノ大サ(米)	傾斜(度)	掘鑿方法	當該年度ノ豫定深度(米)		完成豫定期間
							垂直深度	斜距離	
計						手掘			
						電鑿掘			
						空鑿掘			

備考

掘鑿開始箇所ハ何々坑口ヨリ何米又ハ何々基點ヨリ何度何分、何米ト記載スルコト

（二）　探鑛作業ニ從事スル鑛夫ノ職別實員數、一日ノ就業時間、交替制ノ有無及一月ノ稼働日數

（三）　機械掘ヲ爲ス場合ニ於テハ使用スル鑿岩機及其ノ附帶設備ノ種類、型式、大サ及臺數

（四）　排水施設ヲ爲ス場合ニ於テハ當該坑道名及排水設備ノ概要

（五）　原動機ノ種類、キロワット數及臺數

（電力ヲ使用スル場合ニ於テハ其ノ供給關係ヲ記載スルコト）

様式第二號

何鑛探鑛作業狀況報告書（昭和　年　月分）

年　月　日

住所
氏　名　印

指令番號
鑛區所在地
鑛區番號
鑛山名
探鑛鑛種名

坑道番號	掘鑿坑道名	掘進延長深度(米)	掘進累計(米)	掘鑿狀況	地質鑛床ノ狀態
計	水平坑道				
	竪坑				

様式第三號

何鑛探鑛奬勵金交付申請書

指令番號
鑛區所在地
鑛區番號
鑛山名

右鑛區ニ於ケル何鑛探鑛作業完了致候條探鑛奬勵金　圓交付相成度掘鑿ノ狀況及地質鑛床ノ狀態ヲ示シタル圖面相添此段及申請候也

年　月　日

住所
申請人　氏　名　印

商工大臣宛

備考

掘鑿ノ狀況及地質鑛床ノ狀態ヲ示シタル圖面ニハ探鑛ノ結果判明セル地質鑛床ノ狀態及奬勵金ノ交付ヲ受クベキ探鑛坑道ノ部分ヲ明示スルコト

達

◎陸達第二十九號

昭和十一年陸達第二十三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年五月二十四日　陸軍大臣　杉山　元

〔參照〕
昭和十一年六月九日陸達第二十三號ハ聯隊區司令部下士官判任文官定員區分ニ關スル件ナリ

告示

◎内務省告示第二百八十一號

船橋都市計畫街路左ノ通決定シ昭和十三年五月二十日内閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ千葉縣廳及船橋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十三年五月二十四日　内務大臣　末次　信正

船橋都市計畫街路

第一　街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル

一　廣路　幅員　四四「メートル」以上

二　一等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員　三六「メートル」以上

第二類　幅員　二九「メートル」以上

第三類　幅員　二二「メートル」以上

三　二等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員　一八「メートル」以上

第二類　幅員　一五「メートル」以上

第三類　幅員　一一「メートル」以上

四　一等小路　幅員　七「メートル」以上

五　二等小路　幅員　四「メートル」以上

第二　前項ニ定ムルモノヲ除クノ外街路ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月内務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

第三　都市計畫街路左ノ如シ

街路番號			街路名稱	起點	終點	主ナル經過地	幅員「メートル」
等級	類別	番號					
二	二	一	船橋驛三田濱海岸線	九日市芦田	九日市西濱田		一六

別紙圖面表示ノ通（圖面省略）

第四　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫千葉地方委員會ノ議ヲ經テ内務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◎大藏省告示第百四十三號

一米穀證券（第七十五回）額面一億四百萬圓

右昭和十三年五月二十五日支拂期日ニ付之ヲ支拂フ

昭和十三年五月二十四日　大藏大臣　賀屋　興宣

◎司法省告示第十三號

昭和四年司法省告示第四十二號中左ノ通改正シ昭和十三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年五月二十四日　司法大臣　鹽野　季彥

長崎刑務所ノ項佐賀刑務支所ノ次ニ左ノ項ヲ加ヘ小田原少年刑務所ノ項「浦賀少年刑務支所」ヲ「浦賀海上刑務支所」ト改ム

大村海上刑務支所	長崎縣西彼杵郡大村町

〔參照〕
昭和四年十二月二十七日司法省告示第四十二號ハ分監ノ名稱及位置ノ件ナリ

◎農林省告示第百八十一號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

昭和十三年五月二十四日　農林大臣　伯爵　有馬　賴寧

字	地番	面積 町段畝歩
愛知縣寶飯郡一宮村大字大木		
山之奧	一〇九　見込	一、四〇二四ノ内 七一二
同豐橋市東田町		
姿　鄕	二ノ一　見込	五七一六ノ内 二九
同南設樂郡作手村大字木和田		
前	三三ノ一　見込	一五一六ノ内 二〇〇
同渥美郡伊良湖岬村大字小鹽津		
中　村	四六ノ三	八 一

◎遞信省告示第千六百五十三號

左記私設無線電信ハ昭和十三年五月十日限リ廢止ノ旨屆出アリタリ

昭和十三年五月二十四日　遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名	機器裝置場所
昭和十三年二月遞信省告示第二百九十五號	隆昌海運株式會社	汽船隆昌丸

◎遞信省告示第千六百五十四號

昭和十三年五月十日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「隆昌丸託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十三年五月二十四日　遞信大臣　永井柳太郎

◎遞信省告示第千六百五十五號

昭和十年九月遞信省令第三十號電氣用品取締規則ニ依リ左記ノ通昭和十三年五月二十日電氣用品ノ製造ヲ免許セリ

昭和十三年五月二十四日　遞信大臣　永井柳太郎

免許證書番號　第一〇〇〇號

電氣用品ノ種別　電熱器

申請者ノ營業所及氏名　大阪市旭區古市大通三丁目七〇番地　石原電化研究所　石原礎一

◎遞信省告示第千六百五十六號

昭和十三年六月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハズ

昭和十三年五月二十四日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
各務ケ原郵便局	岐阜縣稻葉郡蘇原村大字三柿野（那加局集配區內）
油田郵便局	富山縣東礪波郡油田村（出町局集配區內）
田結郵便局	長崎縣北高來郡田結村（江浦局集配區內）
八幡熊手郵便局	八幡市熊手神原町一丁目（黑崎局集配區內）
和田郵便局	岡山縣兒島郡日比町大字和田（玉局集配區內）
南多久郵便局	佐賀縣小城郡南多久村（東多久局集配區內）

◎遞信省告示第千六百五十七號

本日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第六十一播州丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

昭和十三年五月二十四日　遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別	發受電報ノ種別
東海第三福吉丸託送（東海遠洋漁業株式會社第三福吉丸）	JYDJ	各海岸局及各船舶局	和文電報

◎遞信省告示第千六百五十八號

昭和十三年五月二十五日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

昭和十三年五月二十四日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	定繫港	電報取扱種別
日海丸無線電信取扱所	日產汽船株式會社所屬汽船日海丸	東京	無線電報

◎遞信省告示第千六百五十九號

昭和十三年五月二十五日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「日明丸」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

昭和十三年五月二十四日　遞信大臣　永井柳太郎

局名	呼出符號
日海丸	JMGM

◎遞信省告示第千六百六十號

外國郵便爲替金又ハ外國郵便振替金ノ換算ニ適用スベキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

昭和十三年五月二十四日　遞信大臣　永井柳太郎

貨幣種別	邦貨一圓ニ對スル外國貨幣額		外國貨幣一單位ニ對スル邦貨額		
				圓	
米國貨幣	到着	$29\frac{1}{8}$	ダラ一	三	四三・三四八
ブラジル貨幣	振出	四「ミル」八百七十「レイス」	ミルレイス		二〇・五三三九

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

◎鐵道省告示第百號

昭和十年九月鐵道省告示第四百八號鐵道航空連帶運輸規則中左ノ通改正シ昭和十三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年五月二十四日　鐵道大臣　中島知久平

第一條中「及滿洲航空株式會社航空路線」ヲ「、滿洲航空株式會社航空路線及惠通航空公司航空路線」ニ、「大阪商船株式會社基隆航路」ヲ「大阪商船株式會社大連航路及基隆航路」ニ、「旅客ノ連帶運輸」ヲ「旅客、手荷物及小荷物ノ連帶運輸」ニ改メ第二項ヲ削ル

第二條中左ノ如ク改ム

第二號中「下關釜山間航路」ノ下ニ「及青森函館間航路」ヲ加フ

第三號ヲ左ノ如ク改ム

三　航空トハ日本航空輸送株式會社、滿洲航空株式會社及惠通航空公司ノ航空路線ヲ謂フ

第四號中「基隆航路」ヲ「基隆航路又ハ大連航路」ニ改ム

第六號ヲ左ノ如ク改ム

六　日本空輸會社線トハ日本航空輸送株式會社航空路線ヲ、滿洲航空會社線トハ滿洲航空株式會社航空路線ヲ、惠通公司線トハ惠通航空公司航空路線ヲ、航空會社トハ日本空輸會社、滿洲航空會社及惠通公司ヲ謂フ

第十號ヲ左ノ如ク改ム

十　航路トハ近海郵船株式會社基隆航路、大阪商船株式會社基隆航路及大連航路ヲ謂フ

第十四號ヲ左ノ如ク改ム

十四　荷物トハ手荷物及小荷物ヲ謂フ

第二條ノ二第二項中「運賃」ヲ「運賃及配達料」ニ改ム

第六條中取扱區域及接續驛表ヲ左ノ如ク改ム

連帶運輸取扱區域	接續驛				
	鐵道ト航空	鐵道ト鐵道	鐵道ト航路	航空ト航空	航空ト航路
省線 東海道本線、中央本線（東京國分寺間）、山陽本線、東北本線、山手線、常磐線、鹿兒島本線、長崎本線、佐世保線、日豐本線、函館本線、室蘭本線（長万部室蘭間）、下關門司間航路、下關釜山間航路、青森函館間航路	東京、名古屋、大阪、博多（福岡）、仙臺、青森、札幌	釜山	三ノ宮、神戸、門司		
日本空輸會社線 普通便 東京大連間、福岡臺北間、東京札幌間	東京、名古屋、大阪、福岡（博多）、仙臺、青森、札幌、臺北、蔚山、大邱、京城、平壤、新義州、大連			新義州、大連	
急行便 東京大連間、京城新京間	東京、名古屋、福岡（博多）、京城、大連、奉天、新京			新義州、大連、奉天、新京	
滿洲航空會社線 大連哈爾濱間、新京齊齊哈爾間、齊齊哈爾滿洲里間、新京淸津間、奉天承德間、新京—林西—承德間、齊齊哈爾大黑河間、哈爾濱大黑河間、哈爾濱牡丹江間、哈爾濱富錦間、哈爾濱—佳木斯—依蘭—富錦間、新京—牡丹江間、哈爾濱—牡丹江—佳木斯間、奉天—輯安—安東—大連間	新義州、大連、奉天、安東、新京、哈爾濱、齊齊哈爾、海拉爾、滿洲里、通化、錦縣（錦州）、赤峰、通遼、北安、黑河、嫩江（墨爾根）、牡丹江、勃利、佳木斯、吉林、延吉、淸津			新義州、大連、奉天、新京、承德、錦州（錦縣）	大連
惠通公司線 大連天津間 天津錦州間	大連、山海關、錦州（錦縣）			大連、錦州（錦縣）	大連
朝鮮鐵道局線 京釜本線、京義本線、東海中部線、京元線、咸鏡線、東海南部線	蔚山、京城、平壤、新義州	釜山、安東、輸城			
總局線 全線	安東、大連、奉天、新京、哈爾濱、齊齊哈爾、海拉爾、吉林、錦縣（錦州）、山海關、通化、承德、赤峰、通遼、北安、黑河、墨爾根（嫩江）、牡丹江、勃利、佳木斯、延吉、淸津	安東、輸城	大連		
臺灣交通局線 基隆屛東間	臺北		基隆		

第3414号 本文

基隆航路 神戸基隆間	大連航路 神戸大連間
神戸、門司、基隆	三ノ宮、門司、大連
	大連

第七條中「接續驛」ヲ「旅客及手小荷物ノ接續驛」ニ改ム

第八條第一項ヲ左ノ如ク改ム

連帶運輸ノ取扱驛ハ左ノ通トス但シ※印ヲ附シタルモノハ日本空輸會社線區間ヲ含ム小荷物ノ受託ヲ爲サザルモノトス

一　省線

東海道本線

東京、新橋、品川、大森、※横濱、※櫻木町、※靜岡、※濱松、※豐橋、名古屋、※岐阜、※大垣、※京都、大阪、※三ノ宮、※神戸、※横須賀

中央本線

神田（旅客、手荷物ニ限ル）、飯田橋、四谷、中野、阿佐ケ谷、國分寺

山陽本線

※姫路、※岡山、※廣島、※下關

東北本線

上野、※郡山、※福島、仙臺、※盛岡、青森

山手線

澁谷、新宿、池袋

九州線

※門司、博多、※久留米、※熊本、※鹿兒島、※長崎、※佐世保、※別府

北海道線

※函館、※小樽、札幌、※室蘭、※旭川

二　日本空輸會社線

東京、名古屋、大阪、福岡（博多）、仙臺、青森、札幌、蔚山、大邱、京城、平壤、新義州、大連、奉天、新京、那覇、臺北

三　滿洲航空會社線

新義州、大連、奉天、新京、哈爾濱、齊齊哈爾、海拉爾、滿洲里、桓仁、通化、輯安、寬甸、安東、岫巖、依蘭、通河、佳木斯、富錦、寶淸、北安、孫吳、黑河、嫩江（墨爾根）、牡丹江、勃利、錦州（錦縣）、承德、赤峰、林西、林東、開魯、通遼、吉林、延吉、琿春、淸津

四　惠通公司線

錦州（錦縣）、山海關、天津、大連

五　朝鮮鐵道局線

※釜山、蔚山、大邱、京城、平壤、新義州、※元山、※咸興、※羅南

六　總局線

大連、※鞍山、※遼陽、奉天、※四平街、※公主嶺、新京、安東、※撫順、※營口、哈爾濱、齊齊哈爾、海拉爾、滿洲里、※吉林、錦縣（錦州）、山海關、通化、承德、赤峰、※鄭家屯、通遼、北安、黑河、墨爾根（嫩江）、牡丹江、※綏芬河、※林口、※勃利、※密山、延吉、淸津

七　臺灣交通局線

※基隆、臺北、※臺中、※斗南、※嘉義、※新營、※臺南、※高雄、※屛東

八　基隆航路

※神戸、※門司、※基隆

九　大連航路

※神戸、※門司、※大連

同條第二項中「博多」ノ下ニ「、仙臺、青森、札幌」ヲ加フ

第十條中左ノ如ク改ム

第一項中「滿洲又ハ臺灣」ヲ「滿洲、臺灣又ハ北支」ニ改ム

第三項ヲ左ノ如ク改ム

第十五條ノ二ニ依リ乘車日及航空便ヲ指定シタル航空區間ニ對シテハ第一項ノ通用期間內ト雖乘車券面指定ノ乘車日及航空便ニ非ザレバ乘車スルコトヲ得ズ

第十三條第一項第三號中「滿洲航空會社線」ノ下ニ「及惠通公司線」ヲ加フ

第十五條第一項但書ヲ削リ末尾ニ左ノ如ク加フ

大連航路

陸海軍軍人軍屬及滿洲國陸海軍軍人軍屬

一、二等　一割

第十五條ノ二　航空區間ニ對シテハ乘車日及航空便ヲ指定シテ乘車券ヲ發賣ス但シ旅客ハ希望ニ依リ之ガ指定ヲ爲サズシテ乘車券ヲ購求スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ在リテハ旅客ハ航空機ノ座席ニ餘裕アル場合ニ限リ乘車スルコトヲ得ルモノトス

第十六條　乘車券ハ使用開始ノ六日前ヨリ之ヲ發賣ス但シ航空機ニ對スル乘車日及航空便無指定ノモノニ在リテハ前賣ヲ爲サズ

第十七條　旅客ガ任意ニ旅行ヲ見合セ又ハ中止シ若ハ旅客規則第百七十七條第一項ニ掲グル事由ニ因リ航空機ニ不乘ノ場合ニ於ケル未乘航空運賃ハ左ノ場合ニ限リ之ガ拂戾ヲ爲シ其ノ他ノ場合ハ之ガ拂戾ヲ爲サズ

一　乘車日及航空便ヲ指定セザル場合通用期間內ニ申出タル場合ニ限リ全額ノ拂戾ヲ爲ス

二　乘車日及航空便ヲ指定シタル場合當該航空機ガ乘車券面記載ノ飛行場ヲ出發スル時刻迄ニ航空會社營業所ニ到達スル樣申出アリタル場合ニ限リ半額ノ拂戾ヲ爲ス

第十八條中「基隆航路」ヲ「航路」ニ改ム

第十八條ノ二　航空機故障、天候障碍ニ因リ航空機運行不能ノ爲航空區間ヲ全區間乘車セズ前途鐵道、航路ニ由リ旅行ヲ爲ス場合ニ在リテモ前條ニ準ジ之ガ取扱ヲ爲スモノトス

第二十條　乘車券樣式裏面注意第一號ヲ左ノ如ク改ム

(1)　航空區間の搭乘日及搭乘便の豫約をした場合は表面指定の日の便に限り有效です

同第二號ヲ第三號ニ改メ第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

（2）　航空區間の搭乘日及搭乘便の豫約をしない場合は座席に餘席がある場合に限り搭乘出來ます

第二十一條中左ノ如ク改ム

第一號中「滿洲」ノ下ニ「、北支」ヲ加フ

第二號ヲ左ノ如ク改ム

二　同第百七十九條ノ規定ニ依ル旅行中止ノ場合ニ於ケル航空區間ノ運賃ノ拂戾ハ航空機ノ乘車日及航空便ヲ指定シタル場合ニ於テ前途ノ航空區間ニ對シ乘車スルコト能ハザル場合ニ限リ之ガ拂戾ヲ爲シ指定セザル場合ハ之ガ拂戾ヲ爲サズ

第二十二條　旅客ハ旅行ニ必要ナル物品ヲ手荷物トシテ託送スルコトヲ得但シ左ニ該當スル物品ハ之ヲ託送スルコトヲ得ズ

一　一箇ノ長一米、容積〇・一二五立方米又ハ重量三十瓩ヲ超ユルモノ但シ航空區間ヲ鐵道及航路ニ由リ運送スルモノニ在リテハ一箇ノ長三米（運動用具、釣道具及天幕生活用品ヲ除ク）、容積一立方米又ハ重量百五十瓩ヲ超ユルモノ

二　臭氣ヲ發シ又ハ不潔ナルモノ

三　他ノ物品ヲ汚損スル虞アルモノ

四　危險品

五　貴重品

六　動物（水ニ容レザル魚介蝦類ヲ除ク）

七　車輛類（不具者及病患者ノ乘用ニ供スル特種車輛類、乳母車及乳母椅ヲ除ク）、病人用擔架

八　死體及遺骨

九　樂器類、寫眞機類、理化學器械類、度量衡檢査用具

十　壜詰其ノ他ノ破損シ易キモノ

十一　荷造不完全ナルモノ

第二十三條　手荷物ノ運送經路ハ乘車券ノ經路ト同一トス但シ旅客ガ特ニ指定シタル場合ニ在リテハ航空區間ヲ鐵道又ハ航路ニ由リ其ノ運送ノ引受ヲ爲ス此ノ場合ノ運送經路ハ運轉機關ニ於テ之ヲ定ム

第二十三條ノ二　左ニ該當セザル物品ハ小荷物トシテ之ヲ託送スルコトヲ得

一　一箇ノ長一米、容積〇・一二五立方米、重量三〇瓩ヲ超ユルモノ

二　車輛類

三　危險品

四　死體

五　動物

六　臭氣ヲ發シ又ハ不潔ナルモノ

七　他ノ物品ヲ汚損スル虞アルモノ

八　荷造不完全ナルモノ

九　特別扱新聞紙雜誌

十　旅客規則第二百二十四條第一號乃至第三號ノ貴重品（航路發著又ハ經由ノ場合ニ限ル）

第二十三條ノ三　小荷物ノ航空運送區間ハ荷送人ニ於テ之ヲ指定スルモノトス

第二十三條ノ四　小荷物ノ運送竝運賃計算ノ經路ハ左ノ各號ニ依ル

一　運送經路

イ　鐵道　運輸機關ノ定ムルトコロニ依ル但シ滿洲內ニ發著スル場合ノ朝鮮鐵道局線ト總局線トノ接續驛ニ付テハ荷送人ノ指定ニ依ル

ロ　航路、航空　荷送人ノ指定ニ限ル

二　運賃計算經路

イ　鐵道　最短ノ營業粁程ニ依ル但シ第一號ニ依リ接續驛ニ付荷送人ノ指定シタルモノニ在リテハ其ノ接續驛經由ニ依ル

ロ　航路、航空　荷送人ノ指定セル航路、航空區間ノ營業粁程ニ依ル

第二十四條　手荷物ハ左記各號ニ依ル重量迄無賃トス

一　鐵道區間　旅客規則第三百三十一條ニ依ル重量

二　航空區間　十瓩

三　航路區間

イ　基隆航路

一等　九十瓩

二等　七十瓩

三等　三十五瓩

ロ　大連航路

一等　百五十八瓩

二等　百十三瓩

三等　六十八瓩

小兒ニ對スル無賃運送重量ハ前項重量ノ半（一瓩未滿ハ一瓩ニ切上グ）トス但シ航空區間大人運賃ヲ收受シタル小兒ニ對シテハ該區間大人ニ對スル無賃運送重量ニ依ル

第二十五條中左ノ如ク改ム

本文中「荷物ニ對シテハ」ヲ「手荷物ニ對シテハ」ニ改ム

第一號及第二號ヲ左ノ如ク改ム

一　鐵道區間　前條第一項第一號ニ定ムル無賃運送重量ノ超過重量ニ對シ各鐵道ノ營業粁程ヲ通算シ省所定ニ依リ計算シタル手荷物運賃

二　航空區間　前條第一項第二號ニ定ムル無賃運送重量ノ超過重量ニ對シ計算シタル航空會社所定ノ運賃

第二十三條第一項但書ニ依リ鐵道又ハ航路ニ由リ運送スル場合ニ在リテハ鐵道及航路ノ運送區間ノ營業粁程ヲ通算シ全重量ニ對シ省所定ニ依リ計算シタル通常小荷物運賃ト同額ノ手荷物運賃

第三號中「第二十二條第二號」ヲ「前條第三號」ニ改ム

第二十五條ノ二　小荷物ニ對シテハ左ノ各號ニ依ル運賃ヲ併算收受ス

一　鐵道及航路　連帶運輸規則第二十條ニ依リ計算シタル小荷物運賃

二　航空　航空會社所定ノ小荷物運賃

第二十六條　第七條ノ場合ニ於テ鐵道、航路ニ由リ手荷物及小荷物ヲ繼續運送スル場合ニ於テハ左ノ各號ニ依ル併算運賃ト既收運賃トノ差額ノ拂戾ヲ爲ス

一　手荷物

イ　鐵道區間　實際鐵道乘車區間ノ營業粁程ヲ通算シ第二十五條第一號ニ依ル手荷物運賃

ロ　航路區間　第二十五條第三號ニ依ル手荷物運賃（旅客ガ航路ヲ乘船シタル場合ニ限ル）

ハ　航空區間　中間著陸場ニ著陸シタルモノニ在リテハ當該中間著陸場迄其ノ他地點ニ著陸シタル場合ニ在リテハ發驛寄最近ノ飛行場（中間著陸場ヲ含ム）迄航空機ニ由リタルモノト看做シテ第二十五條第二號ニ依ル手荷物運賃

第二十三條但書ノ場合ニ在リテハ鐵道、航路ニ由ル手荷物ノ實際運送ノ營業粁程ヨリイ及ロノ營業粁程ヲ控除シタル殘餘區間ニ對シ第二十五條第二號ニ依リ計算シタル運賃

二　小荷物

イ　鐵道及航路區間　實際運送區間ノ營業粁程ヲ通算シ省所定ニ依ル小荷物運賃

ロ　航空區間　中間著陸場ニ著陸シタル場合ニ在リテハ當該中間著陸場迄、其ノ他ノ地點ニ著陸シタル場合ニ在リテハ發驛寄最近ノ飛行場（中間著陸場ヲ含ム）迄航空機ニ由リタルモノト看做シ計算シタル小荷物運賃

第二十七條　旅客ハ發驛ニ於テ配達料一箇ニ付十錢ヲ支拂ヒ別ニ定ムル區域內ニ限リ鐵道及航路著手荷物ノ配達ノ請求ヲ爲スコトヲ得著驛ニ於テ手荷物配達ノ請求ヲ爲ス場合亦同ジ

鐵道及航路著小荷物ハ旅客規則第二百五十九條第一項各號ニ規定スル物品ヲ除キ荷送人ニ於テ特ニ驛留ヲ請求セザルトキハ別ニ定ムル區域內ニ限リ無賃ニテ之ヲ配達ス

第3414号　本文

第二十七條ノ二　旅客ハ全區間鐵道及航路ニ由リ運送スル手荷物ニ限リ第二項ノ要償額表示料ヲ支拂ヒ要償額表示ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

要償額表示料ハ各運輸機關所定ノ要償額表示料ヲ算出シ併算ス

第二十七條ノ三　荷物ノ引渡期間ハ左ノ各號ニ依リ計算シタル日數ノ併算トス

一　鐵道　旅客規則第三百八十條ニ依リ計算シタル日數ノ併算トス但シ滿鐵國線輸送期間ハ二百粁迄毎ニ一日トス

二　航空

イ　發送期間　受託ノ日ヨリ次ノ發航日迄ノ日數但シ次ノ發航日迄ノ日數ガ二日ニ滿タザルトキハ第二次ノ發航日迄ノ日數

ロ　輸送期間　六百粁迄毎ニ　一日

ハ　接續期間　航空機ノ運航上當日中ニ接續航空便ナキ場合ニ増加スベキ日數ハ之ヲ輸送期間ニ加算ス

（一）　他運輸機關ヨリ引繼ヲ受クル場合イニ同ジ

（二）　鐵道、航路ニ引繼グ場合　一日

三　航路

イ　發送期間　毎日發航スル場合ニ於テハ受取ノ日共二日、其ノ他ノ場合ニ於テハ受取ノ日ヨリ次ノ發航日迄ノ日數但シ次ノ發航日迄ノ日數ガ二日ニ充タザルトキハ第二次ノ發航日迄ノ日數

ロ　接續期間　（他ノ運輸機關ヨリ引繼ヲ受クル場合）第二號イニ同ジ

ハ　輸送期間　五十海里迄毎ニ　一日

ニ　接續期間　（他ノ運輸機關ニ引繼グ場合）　一日

ホ　陸揚期間　（航路著ノモノニ限ル）　一日

ヘ　配達期間　一日

前項第一號ノ場合輸送期間ハ運輸機關毎ニ之ヲ計算ス

運輸機關ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ因リ延著シタル場合ニ於テハ其ノ遲延日數ダケ引渡期間ハ延長セラレタルモノト看做ス

驛留手荷物ニ在リテハ其ノ引渡準備ヲ爲シタルトキ、驛留小荷物ニ在リテハ引渡ヲ爲スベキ旨ノ通知ヲ發シタルトキ（通知ヲ發セザルモノニ在リテハ其ノ引渡準備ヲ爲シタルトキ）ハ其ノ後ノ期間ニ付テハ運輸機關ノ責ニ歸スベキ理由アル場合ヲ除キ引渡期間ハ之ヲ超過セザルモノト看做ス

第二十七條ノ五　旅客規則第三百三十八條ニ依ル陸海軍公用小荷物及滿洲國陸海軍公用小荷物ニ對シテハ第二十五條ノ二ニ依ル運賃ヨリ五割ヲ低減ス（錢未滿ノ端數切捨）但シ航空運賃ニ對シテハ之ガ低減ヲ爲サズ

前項ノ荷物ニ對シ運賃ノ割引ヲ受ケムトスル者ハ荷物託送ノ際相當證明書ヲ提出スルモノトス

第二十八條　旅客規則第三條、第六條、第八條、第二百十八條、第二百十九條、第二百二十一條、第二百二十四條乃至第二百二十六條、第二百二十九條乃至第二百三十二條、第二百三十七條乃至第二百三十九條、第二百四十三條乃至第二百四十八條、第二百五十二條乃至第二百五十六條、第二百五十九條乃至第二百六十一條、第二百六十九條、第二百七十條、第二百七十一條、第二百九十三條乃至第二百九十五條、第二百九十六條乃至第二百九十八條、第三百一條、第三百三條乃至第三百十一條、第三百十二條、第三百十三條乃至第三百十五條、第三百十八條、第三百二十條、第三百二十二條、第三百二十四條、第三百二十五條、第三百二十八條、第三百二十九條、第三百三十二條、第三百四十六條、第三百四十七條、第三百四十九條、第三百五十五條乃至第三百六十一條、第三百六十三條乃至第三百七十一條、第三百八十一條乃至第三百八十五條及第三百八十七條ノ規定ハ第二項ノ場合ヲ除ク外荷物ノ運送ノ場合ニ之ヲ準用ス

航空機ノ運航不能又ハ運航時刻ノ遲延ニ因リ既ニ託送シタル荷物ニ對シ鐵道、航路、航空ニ由リ發驛ヘ返送又ハ著驛變更ノ請求ニ應ジタル場合ニ於テハ左ノ各號ニ依リ運賃ノ追徴又ハ拂戻ヲ爲ス

一　手荷物

イ　發驛返送（旅行見合セノ場合）

發驛荷物所在驛間ノ往路及復路ニ對スル手荷物總重量ニ對スル通常小荷物運賃ト既收運賃トノ差額ノ追徴又ハ拂戻ヲ爲ス

ロ　著驛變更（旅行中止ノ場合）

（一）　旅行中止驛ニ於テ引渡ストキ

發驛旅行中止驛間相當ノ手荷物運賃ト既收運賃トノ差額ノ拂戻ヲ爲ス

（二）　旅行中止驛ニ返送シテ引渡ストキ

發驛旅行中止驛間ノ相當手荷物運賃ト旅行中止驛荷物所在驛間ノ往路及復路ニ對スル手荷物總重量ニ對スル小荷物運賃トノ合算額ト既收運賃トノ差額ノ追徴又ハ拂戻ヲ爲ス

二　小荷物

イ　發驛返送

發驛荷物所在驛間ノ往路及復路ニ對スル相當運賃ト既收運賃トノ差額ノ追徴又ハ拂戻ヲ爲ス

ロ　著驛變更

發驛荷物所在驛間及荷物所在驛變更著驛間ニ對スル相當運賃ト既收運賃トノ差額ノ追徴又ハ拂戻ヲ爲ス

第二十九條中左ノ如ク改ム

第一項中「旅客ノ航空區間ニ對スル荷物」ヲ「旅客ノ航空區間ニ對シ鐵道、航路ニ由リタル手荷物」ニ、「荷物ニ對スル」ヲ「手荷物ニ對スル」ニ改ム

第二項中「荷物」ヲ「手荷物」ニ、「鐵道ニ於テ」ヲ「關稅、通關其ノ他ニ要スル費用ヲ鐵道ニ於テ」ニ改ム

◎東京府告示保編第一號

森林法ニ依リ左記箇所ヲ保安林ニ編入ス

昭和十三年五月二十四日

東京府知事　館　哲二

字	地番		面積	所有者
			町段畝歩	
西多摩郡檜原村				
神戸	八、〇二三	見込	四、七九〇〇ノ内二、三一〇〇	高取　芳平
同	八、〇二五		九、〇〇〇〇	片山　正男
同	八、〇七八	見込	五、五九〇〇ノ内二、七二〇〇	西川　定吉
同大久野村				
幸神	一、八九七	見込	六八〇〇ノ内一一六	羽生　順吉
同	一、九〇二		一五〇〇	同
同	一、九〇三	見込	一六〇〇ノ内三〇〇	同
同多西村大字菅生				
上	一、五六八	見込	三三〇六ノ内一三一五	野口　正壽
同	一、五八〇	同	一七一〇ノ内七〇〇	藏　守　院
同大字草花				
松山	二、四九二	見込	六〇八ノ内二〇三	慈　勝　寺
同	二、四八二		六一八	島田修一郎
花野戸	二、四四七	見込	三二三ノ内一〇八	大　行　寺
同	二、四四六		七三	山崎　廣吉
同	二、四四五	見込	六一八ノ内三一四	笹木荻次郎
同増戸村大字網代				
八町地	四一八	見込	七三九ノ内二八一五	片山　忠吉
松畑	四一九	同	四〇一〇ノ内一三一五	青木　半平
同三田村大字御嶽山				
圓山	一〇九		二六〇〇	林　正樹
同氷川村大字日原				
一原	九七一	見込	三、三〇〇〇ノ内二、一〇〇〇	田中善次郎
巳ノ戸	一、〇〇二一號	同	六、五〇〇〇ノ内五、六〇〇〇	原島甚三郎
同大字氷川				
栃久保	一、八七一		四〇〇	壽　清　院
同	一、八七三イ號	見込	八一二ノ内一三五	同
南多摩郡恩方村大字小津				
下みや	二	見込	一、一五〇〇ノ内二八一五	木村　英一
同	三	同	一、〇五〇〇ノ内二一〇〇	西川勘太郎
同大字上恩方				
小高井	六一イ	見込	一、二八〇〇ノ内六三〇〇	前田林太郎
同	六二チ		一九〇〇	菱山　榮一
同大字下恩方				
澤口	三、〇〇五	見込	四〇〇〇ノ内八〇〇	中島　仙助
同	三、〇〇八	同	六五〇〇ノ内一〇〇〇	米山房太郎
同	三、〇二一乙號		一一五	番場仲次郎
同	三、〇二三		四二九	大野千代藏
同川口村大字上川口				
羽生	三、九七三		三三五	小机　武
同	三、九七一	見込	一三四ノ内一〇〇	羽生澤艶吉
同	三、九七〇	同	八〇九ノ内三〇九	井上　忠司
同	三、九六七	同	一二五ノ内一一五	同
同	三、九六六	同	三二五ノ内一一五	菱山覺之助
同	三、九六五		二一一	同
同	三、九六三	見込	六〇〇ノ内二〇〇	同
同	三、九六〇	同	一〇一八ノ内三一八	高野　美貞
かふしやかいと	三、九〇四	同	九二二ノ内二二二	同
同	三、九〇五	同	七一三ノ内一一三	同
同	三、八九五		二〇一	井上　政信
同	三、八八六ノ一	見込	一二〇六ノ内一〇〇	菱山覺之助
同	三、八八六ノ二	同	一二五ノ内一〇〇	同
同	三、八八四	同	一三二五ノ内一一三	菱山　榮一
同大字下川口				
黑澤	三、五三二	見込	六九〇六ノ内一九〇六	共信合資會社
同	三、五二八	同	三五二〇ノ内二二〇	高島信太郎
三宿	三、六二九	同	三五二〇ノ内二二〇	黑澤　弥市
同大字上川口				
三宿	二、一〇七	見込	一、三〇〇三ノ内八〇三	川　口　村
同	二、一一三		二三四	奥住相次郎
同	二、一一〇		三〇六	黑澤　又市
黑澤入	二、一一三		二一三	黑澤　キン
榛名澤	二、〇四七	見込	二三一三ノ内六一三	瀬沼　壽一
同	二、〇五一	同	五〇四ノ内一〇四	黑澤角次郎
同	二、〇五〇	同	二九〇八ノ内三〇八	瀬沼　壽一
同	二、〇六一	同	二六一八ノ内八一八	同
同横山村大字館				
宮地	一、三三五		四	深須　市松
同	一、三三六		二〇	大木弥三郎
同	一、三三七	見込	一一八ノ内一〇〇	淨　泉　寺
鶯久保	一、三三三	同	一三一五ノ内一〇一五	横　山　村
同	一、三三四	同	九〇〇四ノ内四七〇四	淨　泉　寺
同元八王子村大字元八王子				
中宿	二、四五四		三二一五	菊谷　喜一
御靈谷	二、九四一		一〇〇	小林金一郎
同	二、九四二		一二七	同
西多摩郡成木村大字下成木下分				
末成	一四三ノ一	見込	三九〇〇ノ内一〇〇	加藤伴次郎
同	一四九	同	二六〇〇ノ内三〇〇	積茂角五郎外八名
同	一四八ノ七	同	三、〇〇〇〇ノ内二〇〇〇	成　木　村
同	一四八ノ八	同	二〇〇〇ノ内四〇〇	久保田玉三郎
同	一四八ノ九	同	六〇〇ノ内四〇〇	市川　安重
同	一四八ノ一〇	同	二一〇〇ノ内六〇〇	山田喜十郎
同	一四八ノ一一	同	三三〇〇ノ内一〇〇	野村元次郎
同	一四八ノ一二	同	一〇〇ノ内一〇	加藤伴次郎
同大字上成木上分				
なちや切り	一、一七四號	見込	二〇六ノ内一一〇	熊田　良助
同小曾木村大字南小曾木				
上原澤	一、三六六ノ一	見込	一〇、一一〇〇ノ内二、〇〇〇〇	小曾木村
同	一、三六六ノ二	同	三、四三〇〇ノ内五〇〇	霞　村
同	一、三六六ノ三		二五二〇	同
同	一、三六六ノ八		三五二〇	小曾木村
同	一、三六六ノ一〇		九〇〇	同
厚澤	一、一四〇ノ四		六〇〇	霞　村
同	一、一〇六ノイ	見込	三四〇〇ノ内二〇〇	奥富政五郎
同調布村大字駒木野				
山根	一八三ロ號	見込	一三一一ノ内五〇〇	濱中又三郎外二十六名
同	一八四	同	三〇〇ノ内一〇〇	村田角太郎
見籠	二〇七	同	八〇〇ノ内三〇〇	濱中辰五郎
同	二一四		一〇〇	調　布　村
尾崎	三三六	見込	一六〇〇ノ内一三〇〇	大野　軍藏
大島元村				
二千坪山	三〇七		六六二〇	白井勘次郎
上山	六二〇		五〇〇〇	藤井　タン
二千坪山	三〇三	見込	六六二〇ノ内三五〇〇	岡山忠五郎
同	三〇五ノ一		三三一〇	永田　富次
同	三四一	見込	六六二〇ノ内九〇〇	中村澤次郎
同	三三五		六六二〇	増山藤之助
同野増村				
上山	七一五	見込	七八五、三二〇一ノ内一四五、四五〇〇	野　増　村

正誤

昨十二年十月二十六日農林省告示第三百四十七號中七二三頁四段終ヨリ七行「六五ノ内第八六」ハ「六五ノ内第八五」七二五頁一段十八行「五一一〇ノ内」ハ「五一二〇ノ内」ノ孰モ誤

農林書記官

本月十九日鐵道省告示第九十四號二十一行ヨリ二十五行ニ至ルイ及ロハ左ノ如ク爲ルヘキノ誤

鐵道書記官

イ　滿鐵社線、滿鐵國線、滿鐵北鮮線ハロノ場合ヲ除キ各別ニ粁未滿ノ端數ヲ一粁ニ切上グ

ロ　滿鐵國線ト滿鐵北鮮線トハ粁未滿ノ端數存置ノ儘通算シ粁未滿ノ端數ヲ一粁ニ切上グ

敍任及辭令

◎昭和十三年三月二十一日

正六位勳五等　中島　維市

敍從五位

◎昭和十三年三月二十七日

從六位勳六等　中嶋　俊夫

敍正六位

◎昭和十三年四月四日

正六位勳五等　栗本　進

敍從五位

◎昭和十三年四月九日

從六位勳五等　大宮錠太郎

敍正六位

◎昭和十三年四月十五日

清水　忠雄

柴田　信治

第3414号 本文

高橋　治男
松坂　金次
藤井淸五郎
千賀　康由
上原　哲雄
門脇　賴二
冨山　毅秀
白水　篤
佐々木盛夫
種田　稔
金澤　俊三
別府　明
水島　勇
島崎　富男
靑木高次郎
今川　長次
谷内　正三
小泉　敏
靑葉　靜夫
多田　敦士
北原　典生
湯淺　長榮
藤岡　大信
櫻井　徹
長岡　正
山本　三郎
佐藤　政一
市川　明
森　光男
品田　健一
木邑　仁
高橋　治雄
田中　一
中西　三郎
金田　陸
小川　長
紺野　重忠
齋藤　敏郎
山本　正一

田中　弘
坪井　一男
大迫　一典
村田賢一郎
石川　寶
西田　武
横田　柏男
中村敬四郎
手島　寶藏
木暮　淸一
西田幸十良
遠藤　博道
佐藤　富久
山本　德一
阿部　晋
川喜田　淸
藤井健一郎
住山　重道
今村　博
森澤　誠一
藤島　一夫
奧澤　博一
小西　信也
冨所　尚夫
野澤　喜平
飯塚　賢二
花木　鑛造
前田　博實
鴻嶺　博正
上薗　利雄
和田勝太郎
加納　龍三
田部　義幸
笠原保一郎
宇野　優一
梅崎　茂
橋本雄飛太郎
小谷　正三
森谷　健三

大庭　喜三
粟生　敏三
中村　四郎
鈴木　安丸
大澤　秀壽
藤根　和夫
小笠原　誠
原田　靜夫
八木　武夫
森谷正之助
長谷川　勇
家田　仙次
高見　和雄
戸田　盛夫
靑山　博三
橋本　時正
石塚　誠
刀根　博
伊藤　隆夫
多田　一雄
田中　實
須藤　三郎
加藤　弘郎
柳生　波治
高木　信男
川人喜久彦
本田　桓康
大澤　恒夫
井口　康之
安田　一次
加藤正次郎
奧本　常倫
辻林　三郎
石川　一
竹本　信夫
入江　正文
高木　芳久
鈴木　淸司
伊藤　正藏

竹間　藤一
甲良　精造
阿部　文平
市川　晴夫
眞崎禎次郎
木村　精一
中田與四郎
八巻　直躬
木村　一雄
增淵　善次
尾崎　正夫
浦野　俊
井上　精作
寺田　春雄
酒井　淸一
靑山　實
足立　重治
佐藤　志朗
奈良　勝三
大橋　幸男
富永　正朗
大嶋　幸治
堀尾京一郎
石島基礎夫
丹羽　安
大内　哲彦
林　豊
須藤　敏夫
石渡光太郎
藤村　正弘
鈴木　茂久
島田　儀
河合　宗平
中村　正
奧村　達雄
中山　元正
岩城　守人
南浦　雅治
通澤　卯吉

自見　保美
加川　幸吉
高島　武彦
落合　直芳
大塚　克己
近藤　禰彌
小林敏之助
堀内亀治郎
津留崎　勳
吉原勝五郎
桑原　功
手嶋　良雄
酒井　喜藏
萩原　淸武
山極　柳一
曾田　範宗
高橋　武正
菊地　敏治
坂本　宗幸
村井　敏夫
不和　精
高島　賢
蛭子　隆介
中村慶次郎
坂本　俊雄
中村弘二郎
黒川　成己
岡部　義雄
市川　浩
佐藤　寬
小川　亮
内田正次郎
吉澤　利吉
鎌原　正夫
南里德太郎
山崎　春雄
堀田　房記
安藤　鑑一
堀家　正三

眞山　親雄
小林　孝一
高橋滿壽男
田口　順三
鈴木　文秀
平山隆太郎
蕪田　和夫
香田　太助
辻井　譽
佐藤　昇
中島　周一
大下　淸
武末　正孝
栗原　周作
岡嵜　輝夫
関根　巳智
大村　勇
武田　與一
井上　義一
菅谷正四郎
淺井　重吉
小林　直之
山本　正夫
渡部　文雄
藤居　平一
篠原　英雄
藤本　哲夫
田渕　博保
齊藤　吉雄
小池　松造
北野多喜雄
小濵　正宏
磯部　廣喜
八神　邦信
山口　義信
稲垣　敏夫
宇美　彌助
植田　一三
古田　晋吾

今井　義臣
須藤　弘一
海法　泰治
梶原　實
森　曉夫
倉持　悅藏
千葉　良雄
八木　淸秀
木村　義明
渡邊歸佐春
安藤正之進
武田　金吉
高山　泰助
相原　利伊
金田　芳雄
西鄕　博
佐藤　博
加藤亀太郎
木澤　武夫
泉　保治
西鄕　道親
芦田　秀基
三澤　利政
甲斐篤二郎
小林　六郎
久林　要
川崎　明
上村　惠造
宮西　淸一
中村義太郎
渡邊平三郎
吉村　六郎
横田　保
佐々木　寮
小林　正美
亀山　正雄
阿部　政巳
鈴木　敏士
大竹　武司

一本杉　豊
塚原　俊郎
久保惠太郎
今中　佐一
水谷　一郎
田中　長平
亘理誠五郎
山本　進
萬屋　元吉
伊藤　誠
志村　隆珉
本田　卷男
中川　芳雄
金澤　政雄
八木　正二
開原　富郎
小山　彰
川上　英三
小野島三郎
大木　亘
黒澤　功
井坂賢一郎
平能　仁作
福光　登
石堂　忠男
濱　尙
松浦　正雄
脇野　喜次
松尾　二郎
鈴木喜太郎
土田　知行
佐藤　正市
横井　重義
生橋健治郎
甲斐德三郎
原田　一郎
大石　唯之
染谷　正之
鐵塚　好作

井上　茂
阿部　正信
松浦　孝
加藤　一郎
坂井　收平
小川　周一
宇野　常彥
山口　之介
國分　郡藏
藤松雪太郎
山崎　克夫
片岡　清
吉田　正三
河野　三郎
羽田　正樹
黑川　安郎
片山　正文
小林　淳巳
山本　清教
淵本　正恒
中島三之助
畑中武三郎
阿部　善助
小谷　茂
柴崎　幸助
山崎　恭平
松井　正二
勝間田憲彥
平田　武夫
細田　正
石田　博
小坂　敏男
延東　德夫
橋本　清七
長崎　敏雄
仲山　武雄
羽根　悌三
中島榮一郎
河合　忠

我妻　太郎
若月　五郎
橋本　道男
上田　剛三
淺村　明
市野瀨高治
岸本　豐
清水　松夫
喜田　務
香川眞壽夫
榊原　正臣
大石　正之
峯村　孝
玉隱堂敦巳
高嶋　蓁二
本江　豐治
飯島平右衞門
布施　吉郎
敍正八位
◉昭和十三年四月二十日
從六位　三澤　清彥
敍正六位
◉昭和十三年五月二日
從六位　吉武　善暢
同　加藤　辨三
同　水島　重治
同　爲貞八千穗
同　內田　新一
同　川島　喜一
同　津澤　佐正
同　大塚　憲和
同　東平　光
同　小原　君藏
同　岡村　雅夫
同　井上益太郎
同　吉川　東朔
同　大橋　誠意
同　柴原　雄吉
同　多田隈建雄

（各通）
同　植田　謙太
同　井田　哲
從六位勳四等　小關　晟
從六位勳五等　中島　宣一
從六位勳四等　三由　良作
從六位勳五等　森川　秀也
同　馬渡　重和
同　嶋村　活二
從六位勳六等　阿部　清
從六位　笹川　孝助
從六位勳六等　平田　眞
同　鈴木謙一郎
同　國元東九郎
從六位　樽本　憲藏
同　星野　爲雄
從六位勳六等　後藤　守一
從六位　伊藤　正雄
同　眞野　淳
同　大江勘太郎
同　梅崎　英雄
同　伊藤憲一郎
同　石原　嚴
同　宮崎辰五郎
同　丹野　徹藏
同　飯野　亮
從六位勳六等　藤井宇多治郎
從六位　渡邊　眞澄
同　米田　之雄
同　西海枝信隆
同　高橋　等
正八位　秋山　眞造
敍正六位
正七位勳六等　松村　壽太
同　宮川　豐麿
正七位　石原　登
正七位勳六等　宮本　俊雄
同　山本　勝
同　中村友之進

（各通）
同　山口　喜八
同　鈴木元次郎
正七位　高木　季文
正七位勳五等　坂元　正光
同　小木曾說次郎
同　武安　季春
正七位　水谷　謙三
正七位勳五等　長谷部　傳
同　石垣　誠一
正七位勳六等　布施　季治
正七位　土手　重雄
同　江本　義數
同　伊藤　令二
同　光藤　康明
同　高畠　德正
同　平野　廣二
同　藤井彌太郎
同　高橋　惣市
同　波若　敏郎
同　鬼頭　光一
同　佐藤　哲夫
同　小澤　潔
同　塚田　治作
同　入江　相政
同　伊佐喜久雄
同　山崎　季治
同　金原　誠
同　橋本順一郎
同　日隈　精一
同　石原　次郎
同　中島　信一
正八位　平井　衞
齋田　藤吉
中川　彥治
原田　敏明
石崎政一郎
敍從六位

從七位勳六等　庵原榮之進
從七位勳七等　遊佐　重吉
從七位勳六等　野村　義次
從七位勳八等　關　和男
從七位勳七等　伏屋幹太郎
從七位勳六等　沼田　廣次
從七位勳七等　武安　恒亮
從七位勳六等　矢嶋千代吉
從七位勳七等　小川　藤吉
同　中村祐吉郎
同　萩谷　寬
同　永野　勇馬
同　三上菊太郎
同　川村　大助
同　岩崎　直人
同　清水　熊太
同　白木　一平
同　福田安太郎
同　杉本　隆吉
同　又吉　賀榮
同　伊集院又四郎
同　大田　勇市
同　畑田市太郎
從七位勳六等　米川元之助
同　神田　捨春
從七位勳八等　和田　善次
同　沼田　博臣
從七位勳七等　武村　忠
同　小川　威史
從七位　岩下　幸雄
同　金子　孝三
同　太田　芳郎
同　福島　喜好
同　山下　平一
同　林　義雄
（各通）
同　松久　友三
從七位勳七等　間　半次郎
從七位勳六等　今村　矩八
從七位　森岡讓一郎

從七位勳七等　井之上理吉
從七位　小坂　立夫
同　志村　博
同　窪谷　直光
從七位勳六等　加藤　爲一
從七位　前田　玄二
同　飯森　三男
同　松村　榮一
同　小谷　秀三
同　小川　文良
同　安部　佐末
正八位　石津　照璽
同　杵淵彌太郎
同　中西　喜雄
松本　正雄
中西信太郎
中谷　實
鳥居　菅生
佐波　宣平
依田　新
山崎　正雄
芳賀　檀
富田　文雄
山田　彌
久保岩太郎
吉岡　力
北尾　政男
高橋七之助
橋本八五郎
明日　勝
安藤琴三郎
勳八等　山本　德三
敍正七位
◉昭和十三年五月十八日
正六位勳六等　岡本　林平
敍從五位
◉昭和十三年五月十九日
正七位　石內直太郎
敍從六位

從七位勳七等　村瀨彌兵衞
敍正七位
勳七等　田村　兼吉
（各通）
奧　大藏
敍從七位
◉昭和十三年五月二十一日
從六位　堀　松次
敍正六位
◉昭和十三年五月二十二日
海軍造船大佐正五位勳三等　村上　義次
任海軍造船少將
正五位勳三等　村上　義次
敍從四位
◉昭和十三年五月二十三日
外務屬　島森　徹
任大使館理事官
敍高等官七等
特許局事務官從七位　山地　八郎
（各通）
同　村田　恒
任商工事務官
敍高等官七等
商工屬　高橋　幸司
任特許局事務官
敍高等官七等
商工屬勳八等　山川　正
兼任特許局理事官
敍高等官七等
遞信技師正七位　庄司　新治
兼任朝鮮總督府遞信技師
敍高等官六等
（朝鮮總督府遞信技手兼遞信技手朝鮮總督府平安北道技手陸軍工兵軍曹）　高宮　美隆
任朝鮮總督府遞信技師
敍高等官七等
遞信技師從七位　渡　輝雄
兼任朝鮮總督府遞信技師
敍高等官七等
（朝鮮總督府水原高等農林學校助教授）　一色於菟四郎
任朝鮮總督府農事試驗場技師
敍高等官七等

東京帝國大學助手　安藤　則秀
（各通）
西田　司一
任朝鮮總督府水原高等農林學校教授
敍高等官七等
（朝鮮總督府慶尚北道屬兼朝鮮總督府遞信書記）　池崎　鷹太
任朝鮮總督府道理事官
敍高等官八等
谷山　幸男
任朝鮮道立醫院醫官
敍高等官六等
朝鮮道立醫院醫員　林川　聰
任朝鮮道立醫院醫官
敍高等官七等
朝鮮總督府師範學校教諭　栗垣　隆人
任朝鮮總督府師範學校教諭
敍高等官七等
（朝鮮公立中學校教諭陸軍工兵少尉正八位）　北島　一枝
（各通）
朝鮮公立中學校教諭　藤木　主一
任朝鮮公立中學校教諭
敍高等官七等
（朝鮮公立高等女學校教諭陸軍步兵少尉正八位）　白石　勉
（各通）朝鮮公立高等女學校教諭　丹生　正夫
同　立山　重壽
任朝鮮公立高等女學校教諭
敍高等官七等
（朝鮮公立實業學校教諭陸軍步兵少尉正八位）　杉原冨次郎
任朝鮮公立實業學校教諭
敍高等官七等
（臺灣公立高等女學校長從五位勳五等）　石井　權三
任臺灣總督府視學官
敍高等官三等
（臺灣總督府編修官兼臺灣總督府視學官正五位勳四等）　三屋　靜
任臺灣總督府師範學校長
敍高等官三等

第3414号　本文

任臺灣公立高等女學校長
敍高等官四等
　臺灣公立中學校教諭正六位勳六等　深井米次郎

樺太廳中央試驗所技師　堀　松次
陞敍高等官四等（五月十二日內閣）
　工業試驗所技師兼商工技師　樫田　茂一
依願免本官竝兼官
　陸軍少將　小須田勝造
　海軍造兵中將　谷村豐太郎
（各通）
　東京帝國大學教授　上床　國夫
　京都帝國大學教授　志方　益三
　從四位勳三等　鵜瀞　新五
　渡邊　卓郎
科學審議會委員被仰付
　內務技師　村瀨　吉雄
　工業試驗所技師　大森台三郎
（各通）
依願免本官
　朝鮮公立高等女學校教諭兼朝鮮公立實業學校教諭　菊池　武久
免兼官
　臺灣總督府糖業試驗所屬兼臺灣總督府地方理事官　太田　政雄
（各通）
　臺灣總督府屬兼臺灣總督府警察官及司獄官練習所教官　曹　鴻模
　臺灣總督府警察官及司獄官練習所書記兼臺灣總督府地方警視　大島　正雄
依願免兼官
　臺灣總督府師範學校長　松谷　治平
依願免本官
　土木技師兼道路技師　源川豐一郎
願ニ依リ本職竝兼職ヲ免ス（以上五月十二日同）
　海軍造船少將正五位勳三等　村上　義次
特旨ヲ以テ位一級被進（五月十二日宮內省）
　故陸軍步兵中佐正六位勳五等　中島　維市
　故陸軍工兵中佐正六位勳五等　栗本　進
（各通）
　故陸軍步兵少佐從六位勳六等　中嶋　俊夫
　故陸軍步兵少佐從六位勳五等　大宮錠太郎
特旨ヲ以テ位一級追陞セラル
　侍從武官　後藤　光藏
第九師管內徵兵署及陸軍諸部隊へ被差遣
（以上五月十三日同）

賜一級俸（五月十九日外務省）
　特命全權公使　村上　義溫
賜三級俸
　同　山形　清
　外務事務官　小林龜久雄
賜二級俸
通商局勤務ヲ命ス
　外務書記官　新納　克巳
通商局總務課長兼務ヲ命ス
　領事　白井　康
賜二級俸
天津在勤ヲ命ス
　外務事務官　稻垣　一吉
賜十級俸
通商局第二課勤務ヲ命ス
　同　平澤　和重
賜十級俸
亞米利加局第一課勤務ヲ命ス（以上五月二十一日同）
　內務技師　田寺　元治
四級俸下賜
土木局勤務ヲ命ス
　地方技師　藤元　興善
八級俸下賜
富山縣勤務ヲ命ス
　同　中　忠義
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ福井縣收用審查會委員ヲ命ス
　德島縣書記官　迫　靜吾
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ德島縣收用審查會委員ヲ命ス
　高知縣書記官　里見　富次
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ高知縣收用審查會委員ヲ命ス（以上五月二十一日內務省）
　內務技師　村瀨　吉雄
四級俸下賜（五月二十三日同）
　故陸軍步兵伍長岩田多門父　岩田儀太郎
　故陸軍步兵伍長飯島良造父　飯島傳次郎
　故陸軍步兵伍長井上政藏妻　井上　マサ
（各通）
　故陸軍步兵伍長伊藤司妻　伊藤　トヨ
　故陸軍步兵伍長牛頭德太郎妻　牛頭　德枝
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千六百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵上等兵岩間義永妻　岩間まつ子
　故陸軍步兵上等兵飯沼靜妻　飯沼キヨ子
（各通）
　故陸軍步兵上等兵井上孝男妻　井上アキ子
　故陸軍步兵上等兵井坂信二妻　井坂　ツ子
　故陸軍步兵上等兵漆原延秋妻　漆原　セン
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千四百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵伍長古市新作妻　古市　すゑ
　故陸軍騎兵伍長吉田重之妻　吉田　ケサ
（各通）
　故陸軍騎兵伍長瀨戶峯忠父　瀨戶岩次郎
　故陸軍工兵伍長梅村豐夫母　梅村　をず
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千六百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵上等兵長野七雄妻　長野ツルヱ
　故陸軍騎兵上等兵谷古宇益次郎妻　谷古宇せん
　故陸軍砲兵上等兵中村一太父　中村　弘
（各通）
　故陸軍工兵上等兵水野金二郎父　水野淺治郎
　故陸軍工兵上等兵鈴木逆次妻　鈴木シャウ
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千四百圓ヲ賜フ
　故陸軍輜重兵特務一等兵福田孝三母　福田　あす
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千參百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵大尉林長一郎妻　林　ルミ
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金四千圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵少尉林憲一郎妻　林　きくの
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金參千圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵伍長武藤竹雄父　武藤粂太郎
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千六百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵上等兵中山武父　中山　章庫
　故陸軍步兵上等兵平山精一父　平山幸次郎
　故陸軍步兵上等兵宮川恆吉父　宮川增太郎
（各通）
　故陸軍步兵上等兵赤尾勘太郎母　赤尾　マセ
　故陸軍步兵上等兵橫山正一父　橫山　龜松
　故陸軍步兵上等兵上田彥次母　上田　つゝ
　故陸軍砲兵上等兵杉浦俊秋父　杉浦熊之介
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千四百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵少尉關口美作妻　關口　光江
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金參千圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵伍長鶴見太平母　鶴見　テイ
　故陸軍步兵伍長中里武夫父　中里　善次
　故陸軍步兵伍長金子正雄妻　金子　よし
（各通）
　故陸軍步兵伍長沓掛今朝市父　沓掛初太郎
　故陸軍步兵伍長眞尾志郎父　眞尾　三二
　故陸軍步兵伍長阿久津淸二父　阿久津宗一郎
　故陸軍衞生伍長稻見正次妻　稻見　キク
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ金壹千六百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵上等兵田中一三父　田中　藤吉
（各通）
　故陸軍步兵上等兵高野三郎妻　高野　イ子
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千四百圓ヲ賜フ
　故陸軍工兵中尉庄子十二母　庄子十三子
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金參千五百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵伍長西浦信三父　西浦淸太郎
　故陸軍步兵伍長高橋作次郎妻　高橋　サヨ
　故陸軍步兵伍長草加秋治妻　草加　一惠
（各通）
　故陸軍騎兵伍長大內淸之介妻　大內　はつ
　故陸軍砲兵伍長青木義一妻　青木　ちの
　故陸軍砲兵伍長高橋繁慶妻　高橋アキヱ
　故陸軍工兵伍長高橋博父　高橋　歌吉
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千六百圓ヲ賜フ

（各通）
　故陸軍步兵上等兵法山連次郎父　法山　俊一
　故陸軍騎兵上等兵谷本好馬妻　谷本ミチヱ
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千四百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵少佐山田武幹妻　山田比佐惠
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金四千五百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵伍長熊倉宗內父　熊倉　仁平
　故陸軍步兵伍長向井諭父　向井　佐平
（各通）
　故陸軍步兵伍長淸水治正父　淸水　美登
　故陸軍步兵伍長重信進妻　重信　淸子
　故陸軍步兵伍長永田權四郎母　永田　チヱ
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千六百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵上等兵稻井勇妻　稻井　シヲ
　故陸軍步兵上等兵西岡季滿子　西岡　幸助
（各通）
　故陸軍步兵上等兵二宮猶三郎妻　二宮　マス
　故陸軍步兵上等兵小越晉太郎妻　小越　操
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千四百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵中尉金子義雄妻　金子　露子
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金參千五百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵曹長城一光父　城　藤平
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金貳千百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵伍長北川正志父　北川　淺次
（各通）
　故陸軍步兵伍長西川初雄父　西川　平吉
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千六百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵上等兵淸水亥子吉母　淸水　いし
　故陸軍步兵上等兵森本歲造父　森本石太郎
　故陸軍步兵上等兵熊谷芳雄母　熊谷サワコ
（各通）
　故陸軍步兵上等兵福永直久父　福永　直衞
　故陸軍工兵上等兵熊田三次郎子　熊田　義男
　故陸軍輜重兵上等兵佐々木淳父　佐々木興市
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千四百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵中尉竹本友市妻　竹本　マサ
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金參千五百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵上等兵猪又伊三吉父　猪又　才吉
　故陸軍步兵上等兵十河正三父　十河次郎助
　故陸軍步兵上等兵三好伊三郎妻　三好イシヱ
　故陸軍步兵上等兵上野靜夫父　上野　龜次
（各通）
　故陸軍步兵上等兵佐伯基母　佐伯　テル
　故陸軍步兵上等兵久米弘父　久米　時治
　故陸軍步兵上等兵櫛延政一兄　櫛延梅次郎
　故陸軍步兵上等兵兵頭壽郎父　兵頭　淸定
　故陸軍步兵上等兵五百木淸高母　五百木アキヨ
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千四百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵伍長大江鎌造父　大江吉之助
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千六百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵上等兵中尾徹二妻　中尾　はつ
　故陸軍步兵上等兵山本一母　山本　ヤス
　故陸軍步兵上等兵藤田太郎父　藤田　三郎
　故陸軍步兵上等兵小栗磯平父　小栗惣太郎
（各通）
　故陸軍步兵上等兵中塚茂父　中塚喜代松
　故陸軍步兵上等兵兵頭芳貞父　兵頭　大助
　故陸軍步兵上等兵檜垣松雄妻　檜垣フサヨ
　故陸軍步兵上等兵中塚丑太郎父　中塚　元吉
　故陸軍步兵上等兵佐伯義春妻　佐伯ツルヱ
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千四百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵曹長吉田富次父　吉田福太郎
（各通）
　故陸軍步兵曹長堀永正一母　堀永　ウメ
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金貳千百圓ヲ賜フ
（各通）
　故陸軍步兵伍長原田勝見父　原田　直助
　故陸軍砲兵伍長近藤邦利父　近藤　貞吉
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千六百圓ヲ賜フ
　故陸軍步兵上等兵天德寺貞作妻　天德寺しか
　故陸軍步兵上等兵粥川秀雄父　粥川　勇八
　故陸軍步兵上等兵西田宇太郎妻　西田　むで
（各通）
　故陸軍步兵上等兵神代春雄父　神代　恒祐
　故陸軍步兵上等兵鶴岡良一母　鶴岡　ヌイ
　故陸軍步兵上等兵西村豐作母　西村　スノ
昭和十二年陸軍省告示第三十九號ニ依リ特ニ金壹千四百圓ヲ賜フ（以上五月十四日陸軍省）

歐米各國へ出張ヲ命ス（五月十九日文部省）
　京都帝國大學教授　小牧　實繁
　東京帝國大學助教授　加藤嘉太郎
本俸十一級俸下賜
職務俸金貳百五拾圓下賜
農學部勤務ヲ命ス
　同　右田　伸彥
本俸十一級俸下賜
職務俸金貳百五拾圓下賜
農學部勤務ヲ命ス
　同　右田　仲彥
本俸十二級俸下賜
職務俸金貳百五拾圓下賜
農學部勤務ヲ命ス
　京都帝國大學教授　井上　五郎
賜本俸四級俸
醫學部勤務ヲ命ス
泌尿器科學講座擔任ヲ命ス
　同　青柳　安誠
本俸七級俸下賜
醫學部勤務ヲ命ス
外科學第二講座擔任ヲ命ス
　米澤高等工業學校教授　齋藤　喜助
九級俸下賜
　京都帝國大學教授　松本　信一
泌尿器科學講座分擔ヲ免ス（以上五月二十一日同）
　商工技師　樫田　茂一
工務局勤務ヲ命ス（五月二十一日商工省）

管理局勤務ヲ命ス（五月十日遞信省）
　遞信醫　川上　英畝
樺太廳中央試驗所技師　堀　松次
八級俸下賜（五月十日拓務省）
　社會事業主事　桐越　信雄
滿洲國へ出張ヲ命ス（五月十日厚生省）
　公立實業學校教諭　鈴木　光毅
年功加俸年額百四拾圓下賜（五月十六日東京府）
　公立中學校長　大森乙五郎
年功加俸年額貳百參拾五圓下賜（二十日同）
　公立中學校教諭　小倉　隆
年功加俸年額百四拾五圓下賜
　師範學校教諭　木村　教雄
年功加俸年額九拾六圓下賜（以上二十日同）
　公立實業學校教諭　鈴木　光毅
年功加俸年額九拾圓下賜（以上二十日同）
　公立青年學校長　三國谷三四郎
十三級俸（當分百四圓）下賜（二十日同）
　公立實業學校長　渡邊　盛治
年手當百八拾圓下賜（二十日同）
　地方商工技師　黑田　義一
十級俸下賜（五月二十一日大阪府）
　師範學校教諭　望月市良左衞門
八級俸（當分千七）下賜（二十一日神奈川縣）
　公立高等女學校教諭　奧村平八郎
年功加俸年額百貳拾圓下賜（五月二十日兵庫縣）
　地方農林技師　西辻　義影
十一級俸下賜（五月二十日茨城縣）
　公立實業學校教諭　森本政次郎
年功加俸年額金九拾六圓下賜（五月十一日愛知縣）
　師範學校教諭　上河　善雄
年功加俸年額金四拾四圓下賜（五月十八日靜岡縣）
　同　志藤　民也
年功加俸年額金百九拾貳圓下賜
（各通）
　公立高等女學校教諭　高木　健作
　公立實業學校教諭　高橋　粤太
年功加俸年額金百四拾四圓下賜

第3414号　本文

同　高橋　東夫
年功加俸年額金百九拾貳圓下賜（以上三月十二日同）
同　石川　忠一
年功加俸年額金百九拾貳圓下賜（三月十一日同）
同　泉　喬一
年功加俸年額金百九拾貳圓下賜（四月十一日同）
土木技師兼道路技師　和田　秀夫
七級俸下賜（五月七日岐阜縣）
地方商工技師　甲斐　新作
八級俸下賜（五月十日同）
同　秋山　毅
十一級俸下賜（五月十一日同）
地方農林技師　伊藤　金市
十級俸下賜（五月十六日同）
地方農林主事　坂井　武雄
八級俸下賜（五月十九日同）
公立專門學校教授　玉置　衛平
四級俸下賜（四月二十八日宮城縣）
公立實業學校教諭　鎌田　平
七級俸當分千五百圓下賜
年功加俸年額金百九十二圓下賜（四月二日同）
地方農林技師　三浦　正治
十一級俸下賜
公立高等女學校教諭　佐々木　實
年功加俸年額金貳百拾六圓下賜（以上三月十一日岩手縣）
師範學校教諭　江島　靜一
年功加俸年額金百六圓下賜（四月十九日同）
土木技師兼道路技師　珠川　慶一
十一級俸下賜（四月三十日鳥取縣）
地方商工技師　森澤　武馬
十一級俸下賜（五月十日同）
地方商工主事　岸本　壽治
十二級俸下賜（五月十一日同）
社會教育主事　宍戸　英人
十級俸下賜（五月十二日同）
地方農林主事　桂　宗五
十二級俸下賜（五月十三日島根縣）
公立中學校長兼公立中學校教諭　中井　政吉
年功加俸年額金貳百壹圓下賜
公立高等女學校教諭　中上　延次
年功加俸年額金百四拾四圓下賜（以上三月十二日廣島縣）
地方農林主事　薄木　源齡
十一級俸下賜（五月四日宮崎縣）
公立實業學校長　山中　嚴
十二級俸下賜（五月六日同）

正誤

本月二十一日本欄六九〇頁四段「岩本典助」ハ「岩本與助」ノ誤植

宮廷錄事

◎**御祝電竝御答電**　徐州陷落ニ付本月二十日滿洲國皇帝陛下ヨリ　天皇陛下ヘ御祝電ヲ寄セラレ　天皇陛下ハ之ニ對シ同二十一日御答電ヲ御發送アラセラレタリ

◎**御陪食**　昨二十三日正午宮中ニ於テ博恭王殿下ヲ午餐ニ召サセラレ海軍中將長谷川清其他ヘ御陪食仰付ケラレタリ

◎**勅使差遣**　故陸軍中將高橋眞八葬送ニ付本月二十一日午前十一時勅使トシテ侍從大金益次郎ヲ其邸ニ差遣サレ幣帛ヲ下賜セラレタリ

彙報

○官廳事項

◎**御信任狀竝御解任狀捧呈**　ウルグアイ國駐劄兼勤特命全權公使內山岩太郎本月十九日同國大統領ニ謁見シ御信任狀竝ニ前任特命全權公使山崎次郎御解任狀ヲ捧呈セリ

◎**橫濱駐在暹羅國名譽領事一時離任**　橫濱駐在暹羅國名譽領事倉田猛郎ハ今般朝鮮及滿洲國旅行ノタメ本月十一日同地發一時離任スヘク又同人不在中ハ同名譽領事館勤務名譽副領事中川省吾ニ於テ名譽領事代理トシテ同館館務ヲ處辨スヘキ旨本邦駐劄同國公使ヨリ同十二日附書翰ヲ以テ通知アリタリ

◎**轉勤**　臺灣澎湖廳公立公學校長（奏任待遇）佐々木豐治ハ去月十二日附小池角公學校長ヨリ馬公第一公學校長ニ轉勤セリ

◎**退職**　臺灣澎湖廳公立公學校長（奏任待遇）篠原武熊ハ去月十二日附退職セリ

◎**教職死去**　休職師範學校教諭正七位　加舍亨ハ本月十六日死去セリ

○陸海軍

◎**學生入校**　陸軍豫科士官學校第十八期二次學生トシテ陸軍步兵准尉西岡明、同曹長守山晃、同山本庄藏ハ本月十四日、同步兵准尉三谷隆、同騎兵准尉兒島義忠ハ同十五日、同步兵准尉岩田光儀ハ同十七日、同工兵准尉池田竹夫ハ同九日孰モ入校セリ（陸軍省）

◎**日本赤十字社錄事**

總會　日本赤十字社ハ本月六日東京市赤坂區青山權田原町憲法記念館構內ニ於テ第四十六回通常總會ヲ擧行セリ當日　皇后陛下行啓アラセラレ參會者一萬百八十六名ニシテ午前十時四十分總裁載仁親王殿下御臨場社長公爵德川家達議長席ニ著キ開會ヲ宣告シ昭和十二年度事務竝決算報告ヲ爲シ次テ監事ノ補缺選擧ヲ行フ旨ヲ宣告ス是時佩有功章特別社員香坂昌康氏ヨリ選擧ノ繁ヲ省クタメ議長ノ指名ニ一任シタキ旨ヲ發議シタルニ滿場異議ナキヲ以テ德川議長ハ終身正社員菅原通敬氏ヲ指名セリ夫ヨリ社長ノ御先導ニテ　皇后陛下式場ニ臨御令旨ヲ賜ハリ總裁宮殿下奉答アラセラル左ノ如シ

令旨

茲に日本赤十字社第四十六回總會に臨み親しく各員に告ぐる機を得たるを懽ぶ本社の施設は益々整備し其の基礎は愈々鞏固を加ふるに至れりといふ而して今次事變に際しては戰地並に內地の軍病院に多數の救護班を派し本社經營の病院には戰傷病兵を收容し更に出征軍人遺家族に對しても救護の力を效すと聞くは深く滿足に思ふ所なり

現下時局の重大なるに鑑み本社員一同心を協せ力を戮せて益々國家社會に貢獻せむことを望む

奉答

日本赤十字社第四十六回通常總會ヲ開クニ方リ

皇后陛下ノ親臨ヲ辱ウシ優渥ナル　令旨ヲ賜フ本社ノ光榮之ニ過クル莫シ今ヤ時世ノ進運ニ伴ヒ社業ノ伸展著シキモノアリ殊ニ今次支那事變ニ際シ多數ノ救護班ヲ戰地內地軍病院竝病院船ニ派遣シ又本社病院ヲ始メ十七箇ノ病院カ陸軍病院ニ指定セラレ多數ノ戰傷病將兵ヲ收容シ以テ軍ノ戰時衞生勤務ヲ幫助シ全力ヲ捧ケテ克ク其ノ任務ヲ遂行シ將又出征軍人遺家族ノ醫療救護ニ力ヲ效ス等事變ニ處シテ恤兵報國ノ實ヲ擧クルニ勉メ幸ニ社員著シク增加シ社業益々隆昌ニ趨キ基礎愈々鞏固ヲ加フルニ至レルハ本社ノ甚タ欣幸トスル所ニシテ

陛下　恩眷ノ賜ニ外ナラス洵ニ感激ノ至ニ任ヘサルナリ

惟フニ現下ノ時局竝ニ宇內ノ情勢ハ極メテ重大ニシテ國家社會ノ本社ニ期待スル所モ亦甚タ輕カラサルモノアリ自今一層諸員ヲ督勵シ協心戮力以テ　令旨ニ副ヒ　皇恩ニ報イ奉ラムコトヲ期ス

茲ニ謹テ奉答ス

畢テ議長閉會ヲ宣告ス時ニ午前十時五十六分ナリ是ノ日宣仁親王妃殿下、博義王妃殿下、恒憲王妃殿下、朝融王妃殿下、守正王妃殿下、李鍵公妃殿下、李鍝公妃殿下台臨アラセラレ海軍大臣米內光政、陸軍大臣杉山元、拓務大臣代理拓務政務次官八角三郎等列席セリ又社業ニ盡力セシ功勞者及社資ヲ幫助セシ篤志者ニ對シ總會前日軍人會館ニ於テ總裁殿下ヨリ有功章ヲ三百六十一人ニ、特別社員章ヲ三千百九十三人ニ授與アラセラレタリ（以上陸軍省、海軍省）

○學事

◎**大學院入學**　大阪帝國大學ニ於テ左ノ通各頭書ノ日附ヲ以テ大學院入學ヲ許可セリ（文部省）

四月一日　燃料　伏崎彌之助
同　解剖學　久富　道治

同　甲狀腺劑ノ研究　柴田　攝其
同　病理學、耳鼻咽喉科學　太田　民昌
同　皮膚科學、泌尿器科學　安岡　良猪

◎**入學許可竝取消**　盛岡高等農林學校ニ於テ特別入學ヲ許可セル者、補缺入學ヲ許可セル者竝ニ入學許可ヲ取消シタル者ノ氏名左ノ如シ（文部省）

特別入學許可
林學科
楊　潤時
獸醫學科
巴西　門倉　蒙和敖齊爾
補缺入學許可
農學科
栗原　孝　山中　猛夫　鑼勒　少卜
農藝化學科
堀田　義卿　大塚　剛次　末岡　行正
林學科
上村　政治　中田　喜夫　進藤　忠男
獸醫學科
片山　康二　谷澤　茂　立石　幸夫
中川　豐　深田　治夫　佐藤　太二
農學實科
井關　重一　本山　浩
入學許可取消
農學科
初瀨　敬一　長谷川卓夫　西原　夏樹
德田　直樹　瀧澤　克己　曾我部　貢
松原　一夫　青柳桂太郎　皆川　廸夫
鈴木龜一郎　硯川　敏之
農藝化學科
岡田　公一　渡部　貞清　高橋　資人
中村　吉郎　山下　從一　宮　信一
樋口　一夫　鈴木　弘
林學科
戶塚　宏　大野　宏　內田　武藏
天野　一郎　坂本　克武　美濃地襄二
簑輪　汎人　島　俊雄　平林　裕
獸醫學科
磯貝　正雄　富田　勇　大目木義登
及川　安人　那須　愼平　淺沼　均
宮川　剛　鹿谷　八郎　森本正五郎
川崎　穎吾
農學實科
壹岐　泰藏　細谷　寛　千葉英二郎
久保　康浩　山田　義雄　福本　菊男
兒玉　成壽　安倍　忠正

○財政

◎**國庫歲入歲出現計**　大藏省ニ備フル主計簿ニ依リ調査シタル昭和十二年度國庫歲入歲出現計左ノ如シ（大藏省）

昭和十二年度歲入歲出現計

歲入

科目	昭和十二年度（十三年三月末）圓
經常部	
租税	一、〇四六、六八七、六三〇
所得税	三五九、〇四五、八七一
地租	四五、五六〇、三三九
營業收益税	七四、〇四三、七一〇
資本利子税	二五、八七九、一二〇
法人資本税	四、六七八、六九三
相續税	一六、〇一一、八一二
鑛業税	三、四三六、八四四
外貨債特別税	二、七七二、〇四七
酒税	一八五、九三三、四一一
清涼飲料税	四、三五八、八〇二
砂糖消費税	七九、九〇〇、七二六
織物消費税	三二、五九二、九三七
揮發油税	一四、九八三、五九二
取引所税	二八、二八一、〇四二
有價證券移轉税	二、五三七、四四三
關税	一六四、〇〇九、四六四
噸税	二、五五五、六六四
營業税	一、一八四
兌換銀行券發行税	一〇四、九二九
印紙收入	八四、三六四、〇三七
官業及官有財產收入	六六、七八四、二四九
森林收入	二七、四六八、〇〇三
官有物貸下料	七二九、一二六
配當金收入	二九、七〇三、八五二
刑務所收入	八、八八〇、六二〇
郵便電信及電話收入未濟金收入	二、六四八
日本銀行納付金	九、六七一、九〇一
雜收入	一九、四七九、〇五七
免許及手數料	七〇六、五六九
懲罰及沒收金	二、七四九、六六九
辨償及違約金	三八五、五〇八
税關雜收入	一、四九四、二三五
恩給法納金	四、一二四、五七〇
恩給法分擔金	六二、二七六
幼年學校自費生納金	一五六、九六〇
小笠原島地方收入	二、一七七
利子收入	一二八、〇一九
競馬會納付金	五、七二一、〇一五
雜入	三、九四八、〇五九
經常部合計	一、三三六、九八六、八七四
臨時部	
官有物拂下代	六、一八六、七九〇
地所拂下代	二八一、六五七
物品拂下代	五、六〇八、二三八
家畜拂下代	二九六、八九五
雜收入	三三、〇五六、七五五
受託造修收入	三、三〇六、四七九
受託調査收入	八六、五三四
返納金	四一七、二六七
臘肭獸皮分配金	八六、〇二九
震災手形善後處理法貸付金償還金	二三、八二八
復興事業清算金立替返還金	三〇、四三四
震災貸付償還金	一、四四七、二八八
國債償還資金獻納金	五、八四〇
軍事費獻納金	二九〇、八四八
南滿洲鐵道株式會社納付金	一、四七五、九七一
對支文化事業特別會計ヨリ繰入	二五、八八二、五〇〇
賠償金收入	三、七三七
公共團體工事費納付金	一、四七一、六六四
港灣修築費納付金	一、四七一、六六四
公共團體工事費分擔金	二、八九七、四一一
治水事業費分擔金	一、七六二、四一二
港灣設備費分擔金	五、〇〇〇
道路改良費分擔金	一、一二九、九九九
學術研究奬勵金受入	三一、〇〇〇
下賜金	一二、〇〇〇
寄付金	一九、〇〇〇
保險會社納付金	二、八五七、一六四
輸出補償收入	[illegible]
滿洲國國防費分擔金受入	[illegible]
臨時利得税	[illegible]
公債金	[illegible]
滿洲事件公債及繰替借入金	[illegible]
歲入補塡公債及繰替借入金	[illegible]
北支事件公債及繰替借入金	[illegible]
前年度剩餘金繰入	[illegible]
高等諸學校創設及擴張費受入金	[illegible]
寄付金	[illegible]
元製鐵所特別會計收入未濟金收入	[illegible]
國際聯盟各委員會委員派遣費償還金受入	[illegible]
臨時部合計	[illegible]
歲入總計	[illegible]

歲出

所管別	昭和十二年度（十三年三月末）圓
經常部	
皇室費	四、五〇〇、〇〇〇
外務省	[illegible]
內務省	[illegible]
大藏省	[illegible]
陸軍省	[illegible]
海軍省	[illegible]
司法省	[illegible]
文部省	[illegible]
農林省	[illegible]
商工省	[illegible]
遞信省	[illegible]
拓務省	[illegible]
厚生省	[illegible]
經常部合計	[illegible]
臨時部	
外務省	[illegible]
內務省	[illegible]
大藏省	[illegible]
陸軍省	[illegible]
海軍省	[illegible]

第3414号　本文

司法省	三、〇九八、九七五
文部省	一〇、五〇一、八六九
農林省	五三、八〇六、六九〇
商工省	一三、〇〇八、一二二
遞信省	一四、二六一、七二〇
拓務省	一四、五四二、六〇二
厚生省	七、四七五、〇八八
臨時部合計	九五八、〇七四、五一三
歳出總計	二、〇九〇、四〇五、四〇八

（備考）

一 本表中歳入ハ款又ハ項ニ於テ、歳出ハ所管毎ニ圓未滿ノ數ヲ切捨テ揭上セルヲ以テ實數ニ比シ多少ノ差異アリ

◎外國貿易概表 大藏省ノ調査ニ依ル昭和十三年四月中ノ外國貿易概表左ノ如シ（△印ハ減）（大藏省）

	四月分 本年	四月分 前年	一月以降累計額 本年	一月以降累計額 前年	增減
輸出					
食料品					
甲 粗生品					
米及粉	千圓 一三八	千圓 一二四	千圓 五〇〇	千圓 八五〇	千圓 △ 三五〇
豆類	三二三	九五七	一、五一三	三、九三八	△ 二、四二五
水產物	一、一一二	一、五〇九	四、五七二	七、二七七	△ 二、七〇五
其他	九八一	一、九八九	五、一四〇	七、二九〇	△ 二、一五〇
計	二、五五四	四、五七九	一一、七二五	一九、三五五	△ 七、六三〇
乙 製造品					
小麥粉	四、一四五	一、二〇三	一七、四六〇	四、四二九	一三、〇三一
茶	二四八	五五七	一、六八九	二、八八二	△ 一、一九三
精糖	二、七二一	一、七三八	一〇、五二九	六、五四六	三、九八三
麥酒	一、二六八	五六七	三、二六五	一、七六六	一、四九九
寒天	六三三	七〇五	三、〇七〇	三、一八四	△ 一一四
罐壜詰食料品	一一、〇一八	六、五八三	二一、六三八	二五、四七五	△ 三、八三七
其他	三、一〇九	一、四一二	一三、四八四	五、六四六	七、八三八
計	二三、一四二	一二、七六五	七一、一三五	四九、九二八	二一、二〇七
類計	二五、六九六	一七、三四四	八二、八六〇	六九、二八三	一三、五七七
原料品					
除蟲菊	一一三	一七九	一、三七四	一、一〇八	二六六
屑絲及眞綿	二六六	四八三	一、三七〇	一、八八三	△ 五一三
石炭	八八〇	八七四	二、七九五	二、六八四	一一一
木材	四、〇二六	二、三六八	九、七五六	七、八九八	一、八五八
其他	一、七八一	九、三二九	九、八八九	三〇、四〇四	△ 二〇、五一五
類計	七、〇六六	一三、二三三	二五、一八四	四三、九七七	△ 一八、七九三
原料用製品					
植物性脂肪油	七一〇	四、一五三	二、一七七	九、三九六	△ 七、二一九
薄荷油	一一七	一七六	九一七	九三八	△ 二一
魚油及鯨油	六三三	一、二三〇	二、三七〇	六、二八六	△ 三、九一六
樟腦	一三八	四三〇	八七八	一、九八四	△ 一、一〇六
薄荷腦	一五八	三三四	一、九八五	二、五三五	△ 五五〇
生絲	二四、一二一	三七、九〇三	九九、三六三	一二五、六一〇	△ 二六、二四七
綿織絲	二、九八七	三、六〇七	一二、七〇七	一三、三九二	△ 六八五
人造絹絲	一、〇五三	三、四〇六	五、八五一	一〇、六〇八	△ 四、七五七
銅	一、五一一	九五五	三、七一七	三、八四五	△ 一二八
眞鍮	一〇三	八五五	三四〇	二、七五三	△ 二、四一三
製帽用眞田	七四	一四八	一、五四一	二、三五一	△ 八一〇
其他	一八、六〇六	二一、四四〇	五三、一三六	七四、八一九	△ 二一、六八三
類計	五〇、二一一	七四、六三七	一八四、九八二	二五四、五一七	△ 六九、五三五
全製品					
石鹼	七五二	五七四	二、二九〇	二、一一四	一七六
燐寸	三一二	二一七	八九五	八四九	四六
絹織物	四、〇八六	五、三五六	一七、〇四二	二二、〇三七	△ 四、九九五
人絹織物	九、六〇〇	一一、八九七	三六、六九三	四七、六二八	△ 一〇、九三五
綿織物	四一、七五九	四一、八七〇	一六〇、一六八	一七一、五〇二	△ 一一、三三四
毛織物	三、一七一	二、七九五	一二、三五六	一三、三一七	△ 九六一
綿ブランケット	三二三	四九一	一、三六五	一、八八一	△ 五一六
絹手巾	二三五	四一〇	九九〇	一、五八〇	△ 五九〇
綿タオル	四一一	六三六	一、七八二	二、〇九八	△ 三一六
メリヤス製品	二、六四五	四、六七二	一一、九八五	一六、三〇二	△ 四、三一七
帽子	六八三	二、一一八	三、四〇七	八、八二九	△ 五、四二二
鈕釦	八六六	一、一六九	二、九五〇	四、一〇一	△ 一、一五一
身邊粧飾用品	八九三	一、三五八	三、三三五	四、九二七	△ 一、五九二
紙類	四、一八〇	三、〇八三	一三、二五五	一一、二六〇	一、九九五
セメント	三九五	八四五	一、二三四	二、五九二	△ 一、三五八
陶磁器	三、一七三	四、〇五六	一一、一四一	一四、四四九	△ 三、三〇八
硝子及同製品	二、三〇〇	二、八二二	八、一一八	一〇、二八一	△ 二、一六三
鐵製品	四、二一一	四、七一八	一三、五七八	一五、五八八	△ 二、〇一〇
ゴムタイヤー	七七二	一、〇七九	二、三四九	三、五八四	△ 一、二三五
機械及同部分品	一〇、六三四	九、七六一	三五、一六四	三三、三七二	一、七九二
ブラッシュ	三一五	四四八	一、二九七	一、八二七	△ 五三〇
ラムプ及同部分品	一、二〇六	一、九四七	四、〇四四	六、四四七	△ 二、四〇三
玩具	一、八九六	三、〇三七	七、四九六	一〇、八八六	△ 三、三九〇
其他	三六、〇九四	四三、七二一	一二七、九三八	一五五、二九六	△ 二七、三五八
類計	一三〇、九一二	一四九、〇八〇	四八〇、八七二	五六二、七四七	△ 八一、八七五
其他ノ雜品	二、二二六	四、一六六	九、六七七	一五、七〇三	△ 六、〇二六
通計	二一六、一一一	二五八、四六〇	七八三、五七五	九四六、二二七	△ 一六二、六五二
再輸出品	一、三六〇	四、八五二	三、六五九	一八、一七四	△ 一四、五一五
全計	二一七、四七一	二六三、三一二	七八七、二三四	九六四、四〇一	△ 一七七、一六七
輸入					
食料品					
甲 粗生品					
米及粉	五〇五	四二	七二三	一五四	五六九
小麥	九六	一、八七五	三、七一一	一三、〇九七	△ 九、三八六
豆類	一〇、五〇八	八、〇六一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
乙 製造品					
砂糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
牛肉（生）	二〇九	六二四	一、七二五	二、五三五	△ 八一〇
其他	二、二七八	二、五六二	九、四五八	一〇、一七三	△ 七一五
計	三、三三二	四、四八〇	一六、〇四八	一七、三六三	△ 一、三一五
類計	一八、六二四	一八、九五二	八七、八九八	九九、二五〇	△ 一一、三五二
原料品					
採油用原料	三、二六四	四、一二一	一二、五一〇	二二、一五一	△ 九、六四一
生ゴム	五、八一九	九、八〇七	二一、九〇七	四三、二四七	△ 二一、三四〇
粗製硝酸曹達	五二九	三〇九	六三五	一、三一三	△ 六七八
硫酸アンモニウム（粗製）	三、六九八	一、七〇三	一四、〇五三	六、〇九〇	七、九六三
燐礦石	二、〇一六	一、一二三	七、八六八	五、二六一	二、六〇七
油糟	七、一二六	四、一六七	二九、五九四	一八、六〇九	一〇、九八五
實綿及繰綿	四五、二一一	八八、〇一九	一二八、〇二一	四三三、四九三	△ 三〇五、四七二
其他ノ植物纖維	二、一五二	三、三三六	八、〇二三	一五、〇七七	△ 七、〇五四
羊毛	一〇、七一一	四六、一〇一	二五、四五九	一六二、〇二四	△ 一三六、五六五
石炭	四、三四一	五、〇七八	一六、九七五	一八、五五八	△ 一、五八三
木材	九九五	四、三七二	六、九七六	一四、〇一七	△ 七、〇四一
鐵	一、一六四	一、三七九	三、七八八	四、三五八	△ 五七〇
其他	四〇、六四三	三〇、四三一	一一八、八五八	一一二、七九六	六、〇六二
類計	一三六、六六九	一九九、九四六	三九四、六六七	八五六、九九四	△ 四六二、三二七
原料用製品					
皮類	一、八六二	三、四一四	九、四五九	一二、五八四	△ 三、一二五
革類	二三三	八五一	一、〇二七	二、八三四	△ 一、八〇七
牛脂	一〇	二二二	一七〇	八四九	△ 六七九
苛性曹達（粗製）曹達灰及天然曹達	二一三	五四	五五三	二、二二四	△ 一、六七一
合成染料	六九	二、二三〇	一七五	六、九八一	△ 六、八〇六
毛織絲	一六	一三七	二四〇	五一一	△ 二七一
製紙用パルプ	六、八九五	九、八六二	二七、〇三七	二八、〇三八	△ 一、〇〇一
其他	六一、四一一	六一、四一三	二一〇、六一五	一八七、八八五	二二、七三〇
類計	七〇、七〇九	七八、一八三	二四九、二七六	二四一、九〇六	七、三七〇
全製品					
綿織物	四〇	一〇二	一八〇	三三八	△ 一五八
毛織物	六六	二七三	二、五三八	四、五五九	△ 二、〇二一
印刷料紙	二九	六六五	六三六	一、九一五	△ 一、二七九
其他	三七、二三〇	三六、五二六	一四八、五一九	一三〇、一二四	一八、三九五
類計	三七、三六五	三七、五六六	一五一、八七三	一三六、九三六	一四、九三七
其他ノ雜品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
通計	二六三、八一八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
再輸入品	一、一〇七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全計	二六四、九二五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
輸入超過	四七、四五四	七三、二六八	一〇一、八一七	三七九、二二二	△ 二七七、四〇五
朝鮮臺灣及南洋ヲ含ム外國貿易額					
輸出	二三二、九二三	二七七、八六二	八三八、三四二	一、〇一一、五五三	△ 一七三、二一一
輸入	二七九、六四七	三五〇、七五八	九五〇、九五七	一、四〇七、六六四	△ 四五六、七〇七
通計	五一二、五七〇	六二八、六二〇	一、七八九、二九九	二、四一九、二一七	△ 六二九、九一八
輸入超過	四六、七二四	七二、八九六	一一二、六一五	三九六、一一一	△ 二八三、四九六

○產業

◎補助金交付 石川縣ニ對シ橋立漁港修築費補助トシテ金七萬五千圓ヲ左記年度割ヲ以テ交付スル旨本月二十日指令セリ（農林省）

昭和十三年度 金一萬五千圓
昭和十四年度 金二萬圓
昭和十五年度 金二萬圓
昭和十六年度 金二萬圓

帝國議會

○衆議院

◎議員當選通牒受領 沖繩縣選出議員盛島明長ノ補充トシテ小田榮當選シタル旨本月五日附通牒ヲ受領セリ

◎弔詞 長崎縣第一區選出議員倉成庄八郎去月二十二日死去ニ付同二十七日本院ハ左ノ弔詞ヲ贈レリ

衆議院ハ議員倉成庄八郎君ノ長逝ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

地方行政

◎縣會議員當選 福井縣ニ於テ本月一日縣會議員ノ補闕選擧ヲ行ヒシニ梅田長平當選セリ（福井縣）

在外公館報告

◎里昂生絲竝羽二重市況 本件ニ關スル本月十八日著佛蘭西國駐劄杉村特命全權大使電報左ノ如シ（外務省）

生絲ハ十六日小口極少々、相場白繭絲十四中裾物一三四法見當、同十中一三〇法見當

羽二重ハ買氣ナク閑散、相場越前六付二四モノ二五〇法四〇見當、加賀五付尺五モノ一三七法九〇見當

◎日埃貿易情況 本件ニ關スル本月十九日著埃及國駐劄横山特命全權公使電報左ノ如シ（外務省）

本年三月中ノ日埃貿易ハ埃及ノ輸入九萬四千五百五十六磅ニシテ日本ヘノ輸出十三萬三千七百六十九磅、同月中ニ於ケル埃及ノ綿布總輸入額ハ二十五萬九千七百十五磅、千二百七十八萬五千六百七十三平方米、之カ仕出國國別ハ伊太利九萬六千七十七磅、四百四十三萬四千八百六平方米、英國六萬三千五十六磅、三百十萬七千五百三十八平方米、日本二萬四千九十七磅、二百二十一萬五千七百三十八平方米、印度一萬二千六百三十四磅、九十一萬二千六百五十三平方米、洪牙利九千五百九十一磅、四十四萬四千九百四平方米

第3414号 本文

觀象

◎全國氣象表（正午觀測）

（備考）氣溫ノ第一印ハ氷點下ノ度ヲ示シ降水量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ總量ナリ

五月二十日

地名	氣壓（粍）	風向	風速（米）	氣溫（攝氏）	天氣	降水量（粍）
熊本	757.7	南西	2	20.2	薄曇	—
鹿兒島	757.8	北西	3	21.3	曇	—
高知	755.1	西南西	1	21.9	曇	—
大分	757.0	東	2	19.7	曇	—
廣島	757.1	靜穩	0	17.7	曇	—
多度津	756.5	西北西	4	18.0	曇	—
大阪	755.2	北西	5	19.0	曇	—
長崎	758.3	西	5	18.5	曇	—
福岡	757.9	北北西	4	19.3	薄曇	—
濱田	757.8	西	2	16.7	晴	—
名古屋	753.1	北西	8	20.9	晴	—
橫濱	752.2	北北西	4	22.2	快晴	—
東京	750.6	北西	6	23.1	快晴	4
銚子	751.8	東	3	17.6	快晴	2
前橋	751.1	北	16	19.2	快晴	—
宇都宮	750.6	南南東	3	21.4	曇	9
福井	756.1	北西	3	16.3	曇	—
長野	753.3	北東	6	17.5	晴	—
新潟	755.2	西	12	13.6	曇	—
秋田	750.4	西南西	11	10.7	雨	4
青森	749.2	東	6	11.8	曇	3
福島	750.8	北西	5	18.1	曇	—
石卷	750.6	西北西	4	15.9	曇	—
盛岡	750.1	南	5	12.2	雨	5
根室	749.7	北東	14	2.9	雨	33
紗那	754.2	東南東	6	2.1	雨	44
札幌	750.8	北西	2	11.0	雨	12
旭川	751.3	北	5	8.1	雨	5
大泊	757.5	北東	11	4.8	曇	—
臺北	760.2	東	5	16.9	雨	38
釜山	758.1	東北東	2	15.4	曇	—
仁川	758.1	南南西	4	14.7	薄曇	—
江陵	756.0	東南東	3	16.2	曇	6
元山	757.9	東	2	11.4	雨	—
新義州	758.3	北	5	18.4	晴	—
大連	760.2	北	2	15.4	曇	—
奉天	758.9	北北西	2	18.0	曇	—
新京	758.4	北北東	3	14.0	曇	—
天津	857.8	東南東	5	21.4	快晴	—
青島	759.8	南南東	7	16.8	快晴	5
上海	760.6	東	1	22.3	晴	—

◎東京氣象

五月二十日　天氣概況　晴後雨

平均氣壓（海面ノ度）	七五一・一粍	日照時間	八・九時
平均氣溫	一九・四度	平均風速度	二・九米
平年ヨリ二・〇度高シ		最大風速度	七・二米
最高氣溫	二三・二度	最多風向	北西
最低氣溫	一五・一度	降水總量	二・八粍
前五日間平均氣溫	一八・四度	一時間最大降水量	二・五粍
平年ヨリ一・二度高シ			
平均濕度	六六%		
平均水蒸氣張力	一〇・三粍		
平均雲量	六・三		

記事　朝間霧アリ、午後九時三十二分ヨリ同三十四分マテ、同十時二十四分ヨリ翌日ニ亙リ降雨アリタリ

（以上中央氣象臺）

廣告

◎華族世襲財産

左記財産ヲ以テ華族世襲財産設定認可ノ申請アリタルニ依リ該財産ニ關シ權利ヲ有スル者及債權者ハ昭和十三年七月三十日マテニ宮內大臣ニ申出ツヘシ

昭和十三年五月二十三日　宮內省

◎侯爵大久保利武所有　甲種登錄三分半利國庫債券わ號第三四番金額三萬圓

◎侯爵松平康昌所有　甲種登錄五分利公債せ號第一七〇〇番金額十一萬圓

◎子爵相良賴綱所有　東京市麻布區飯倉片町六番二四宅地十坪五合一勺、六番三六宅地二十三坪六合一勺、八番宅地九十七坪二合八勺、九番宅地五十六坪八合一勺

右東京市中外商業新報ヲ以テ公告ス

◎收容貨物

左記貨物ハ收容後六箇月以上ヲ經過シタルモノニ付關稅法第五十條ニ依リ公告ス

昭和十三年五月　武豐稅關支署

記號番號	種類	箇數
K O T	玉蜀黍	一袋

◎工場財團

靜岡縣濱名郡白脇村三島四十五番地遠州板紙株式會社ヨリ靜岡縣濱名郡白脇村三島四十五番地所在ノ同會社ノ工場ニ屬スル土地、工作物竝ニ機械器具工業所有權等ニ對シ新ニ工場財團組成ノタメ所有權保存ノ登記申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動産ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告掲載ノ日ヨリ三十二日以內ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ但シ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和十三年五月二十四日　濱松區裁判所

◎登記公告掲載新聞休刊

昭和十三年中當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ヲ掲載スヘキ選定新聞紙中熊野太陽ハ昭和十三年四月二十日ヨリ休刊ニ付右選定ヲ取消セリ

昭和十三年五月　田邊區裁判所

◎刑事補償裁判公告

本籍　廣島縣神石郡高蓋村甲千三十四番地

住居　同縣蘆品郡府中町大字府中五番地

會社員　藤井郁太

本籍竝住居　廣島縣蘆品郡府中町大字府中百八十五番地ノ三

洋家具商　藤井茂太郎

一被告事件名　衆議院議員選擧法違反

一判決年月日　昭和十二年十一月十九日

一判決裁判所　廣島地方裁判所

一判決主文　被告人兩名ハ無罪

一判決理由ノ要旨

本件公訴事實ノ要領ハ被告人兩名ハ昭和十二年四月三十日施行ノ衆議院議員總選擧ニ際シ候補者森田福市ニ當選ヲ得シムル目的ヲ以テ選擧人ニ對シ同候補者ニ投票竝投票取纏方ノ依賴ヲ爲シ其報酬トシテ金員ヲ供與センコトヲ共謀シ被告人藤井郁太ハ同年四月二十日午前十一時頃廣島縣比婆郡川北村ノ山林中ニ於テ選擧人水岡雛雄ニ對シ森田候補ニ投票方ノ依賴ヲ爲シ其報酬トシテ金五圓ヲ供與シ

被告人藤井茂太郎ハ同年四月二十日及翌二十一日ノ兩日ニ亙リ比婆郡川北村ノ山林、雙三郡十日市町及比婆郡本村山林等ニ於テ選擧人藤原百之助、山口久太郎、加藤一夫、永島粂市ニ個々ニ面接シ森田候補ノ爲投票竝投票買收方ノ依賴ヲ爲シ其報酬竝費用トシテ百之助ニ對シ金五圓久太郎ニ對シ金十五圓一夫ニ對シ金十圓粂市ニ對シ金五圓ヲ各供與若クハ交付シタルモノナリト謂フニ在レトモ之ヲ認ムヘキ證明ナキヲ以テ無罪ヲ言渡スヘキモノトス

一當裁判所ハ右藤井郁太ノ請求ニ基キ刑事補償法ニ依リ昭和十三年一月二十六日同人ニ對スル未決勾留日數三十日ニ對シ金九十圓ノ補償ヲ爲シ右藤井茂太郎ノ請求ニ付刑事補償法ニ依リ昭和十三年二月三日同人ニ對スル未決勾留日數中七日ニ對シ金二十一圓ノ補償ヲ爲シタリ

昭和十三年五月　廣島地方裁判所

◎檢定教科用圖書

檢定年月日	目的ノ學校竝學科ノ種類	圖書名	卷冊	發行年月日	定價
昭和一三、五、一七	中學校國語漢文科 高等女學校國語科	頭注神皇正統記鈔	一冊	昭和一三、四、三〇 修正再版	三五錢

右著者　右發行者　立川書店編輯部　東京市神田區錦町一丁目十五番地　立川捨藏

同	中學校國語漢文科 高等女學校國語科	頭注徒然草鈔	一	同	四一

右著者　右發行者　立川書店編輯部　東京市神田區錦町一丁目十五番地　立川茂

昭和十三年五月　文部省

◎國債償還資金獻納金

國債償還資金獻納者ノ氏名左ノ如シ

昭和十三年五月　拓務省

收納年月日	金額	族籍官位勳等	氏名
朝鮮　咸鏡南道			
昭和十三年三、一六	二四・〇〇圓	道巡查	全明彥

◎村役場位置變更

鹿角郡錦木村ハ其役場位置ヲ同村錦木字室田四番、六番ノ五ニ變更シ本月九日移轉セリ

昭和十三年五月　秋田縣

◎所屬未定地編入

左記所屬未定地ヲ各其地先村ノ區域ニ編入シ本月十七日ヨリ施行セリ

昭和十三年五月　大分縣

東國東郡熊毛村大字向田字納屋一、九三四ノ二、一、九三四ノ三、一、九三三ノ二番地先

一海面埋立地　一段九畝二十七步

速見郡川崎村字新田八六〇、八六一番地先

一同　一段十四步六合六勺

◎購買入札

一、員數壺　百十一箇

本年八月十五日マテ四回ニ標本ノ通瀧野川分室內證券印刷部納

一入札、契約心得書及標本閲覽場所　當部

一入札日時及場所　本月三十一日午前十時當部（卽時開札）

一入札保證金　見積代金ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ニ依ル資格證明書ヲ入札前ニ提出ノコト

昭和十三年五月二十四日　內閣印刷局總務部

一、硼酸外百十六點　本學醫學部附屬醫院納

二、契約條項ヲ示ス場所　本學會計課

三、入札場所及日時　同課ニ於テ六月七日午前十一時執行（卽時開札）

四、入札保證金　各自見積金額ノ百分ノ五以上ノ現金又ハ國債（圓未滿切上ク）

五、入札者資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者

昭和十三年五月二十四日　九州帝國大學

一藥　三十万瓩

一入札手續、契約心得、仕樣書及見本　當所ニ於テ熟覽

一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一入札竝開札　六月三日午前十一時當所ニ於テ入札、卽時開札

一入札者資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明書ヲ入札前日午後三時マテニ提出シタル者

昭和十三年五月二十四日　岩手縣岩手郡瀧澤村　農林省種馬育成所

一品名及數量　中質印刷紙　四二五、〇〇〇枚

一入札及開札日時　六月三日午前十一時

一入札場所　當局經理課

一契約事項閲覽場所　同課

一入札保證金及其納付時刻　各自見積額ノ百分ノ五以上、入札當日午前十時三十分マテ

一入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

昭和十三年五月二十四日　廣島遞信局

◯賣拂入札

一、當局及芝、品川兩工場ヨリ昭和十三年度中ニ於テ生スル空樽

但シ賣拂豫定數量及現品等ハ當局庶務課ニ付承合ノコト

二、入札規則及契約條項ヲ示ス場所　當局庶務課

三、入札竝開札　六月三日午前十時三十分

四、入札場所　當局庶務課

五、入札保證金　各自見積總金額ノ百分ノ十以上ヲ入札當日午前九時三十分マテニ當局ニ納入ノコト

昭和十三年五月二十四日　東京地方專賣局

◎商業登記

◎堺自動車合資會社變更

一無限責任社員小山清次ハ石井格一ニ同山內勝藏ハ山田久太郎ニ有限責任社員谷田市太郎ハ小原英一ニ同小川定吉ハ谷口敏夫ニ昭和十三年三月十四日各其持分全部ヲ讓渡シテ退社シ讓受人ハ左ノ通リ入社ス

金五千二百二十五圓　無限　石井格一　兵庫縣西宮市滿池谷町二十六番地

金二千六百十二圓五十錢　無限　山田久太郎　大阪市住吉區阪南町西四丁目二十五番地

金二千四百三圓五十錢　有限　小原英一　大阪府泉北郡高石町北六百十六番地ノ六

金二百九圓　有限　谷口敏夫　同郡濱寺町船尾七百二十八番地

昭和十三年三月十六日登記

◎大津織物株式會社變更

一會社ヲ代表スヘキ取締役タル取締役二見文次郎取締役河野磯治ハ昭和十三年三月十二日重任シ同熊野幾太郎田中松太郎青柳幹一ハ同日退任シ左記ノ者同日取締役ニ就任ス

二見三吉　大阪市西區土佐堀船町一番地

飯森清藏　東京市日本橋區小傳馬町三丁目一番地

昭和十三年三月二十五日登記　岸和田區裁判所大津出張所

◎商業組合登記

◎保證責任新宮米穀商業組合變更

一監事岩崎直造ハ昭和十三年三月五日其住所ヲ左ノ通リ變更ス

新宮市新宮一〇四三番地

右昭和十三年三月九日登記　新宮區裁判所

◎美濃西部陶磁器商業組合變更

一左記ノ者昭和十三年三月十七日新ニ加入ス

保證金額金五十圓　柴田利一郎　土岐郡多治見町二千百四十番地

保證金額金五十圓　植田與三郎　同所千百八番地ノ二

昭和十三年三月二十九日登記　御嵩區裁判所多治見出張所

◎長崎肥料卸商業組合（變更）

監事中島榮三ハ昭和十三年三月二十三日退任ス

右昭和十三年三月二十八日登記　長崎區裁判所

◎南種子商業組合變更

一理事日高滿春ハ昭和十三年三月十日辭任シ左記ノ者同月十五日新ニ理事ニ就任ス

中村茂森　熊毛郡南種子村島間十五番地

一監事一名增員ニ付昭和十三年三月十五日左記ノ者新ニ監事ニ就任ス

日高滿春　熊毛郡南種子村中之上二千六百七十一番地

右昭和十三年三月二十五日登記　鹿兒島區裁判所中種子出張所

◎商業組合設立

一名稱　保證責任築館米穀肥料商業組合

一事務所　栗原郡築館町字伊豆野原九十三番地

一目的　米雜穀又ハ肥料ノ卸賣及小賣業ノ改良發達ヲ圖ル爲メ共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス

一地區　栗原郡築館町一迫町宮野村富野村玉澤村姫松村金田村長崎村花山村ノ二町七ヶ村トス

一設立認可ノ年月日　昭和十三年二月二日

一出資ノ總口數　一百口

一拂込ミタル出資ノ總額　金二千五百圓也

一出資一口ノ金額　金一百圓也

一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二十五圓トス第二回以後ノ拂込金額ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ミニ充ツルモノノ外每年十二月末日迄ニ出資一口ニ付金二十五圓宛拂込ムモノトス

一理事ノ氏名住所

宮東榮壽　栗原郡築館町字伊豆野原九十三番地

熊谷德治　同所百六十五番地

鈴木幸之助　同町字町屋敷七十八番地ノ一

遊佐良平　同所六十番地ノ一

千葉金之助　同所二百十番地

一監事ノ氏名住所

白鳥榮六　栗原郡金田村字川口新町二十三番地

白鳥勝好　同郡築館町字伊豆野原百六十六番地ノ八

大谷弘治　同郡一迫町眞坂字本町十三番地

一存立ノ時期又ハ解散ノ事由　定メナシ

一保證金額及組合員ノ氏名住所

一金一千圓也　宮東榮壽　栗原郡築館町字伊豆野原九十三番地

一金一千五百圓也　鈴木幸之助　同町字町屋敷七十八番地ノ一

一金一千四百圓也　熊谷德治　同町字伊豆野原百六十五番地

一金九百圓也　千葉金之助　同所二百十番地

一金五百圓也　遊佐良平　同町字町屋敷六十番地ノ一

一金二百圓也　相馬文藏　同町字伊豆野原二百二十九番地ノ一

一金一百圓也　佐藤英雄　同町字町屋敷百五十三番地

一金二百圓也　小野周輔　同町六十四番地

一金二百圓也　白鳥光雄　同町字堰下五十二番地

一金五百圓也　熊谷熊治　同町字町屋敷百十五番地

一金五百圓也　白鳥勝好　同町字伊豆野原百六十六番地ノ八

一金五百圓也　高橋文治郎　同町字町屋敷二十五番地

一金一百圓也　鈴木金作　同所百十四番地

第3414号本文

一金二百圓也　鹿野哲男　同郡一迫町眞坂字本町四十二番地
一金二百圓也　野村源二郎　同町字中町三十一番地
一金一百圓也　小野遂　同町字南町六番地
一金五百圓也　大谷弘治　同町字本町十三番地
一金一百圓也　伊藤捨吉　同町柳目字會根除下四十五番地
一金三百圓也　相馬藤一　同町眞坂字高橋九十三番地
一金二百圓也　金野豐明　同所六番地ノ二
一金五百圓也　白鳥榮六　同郡金田村字川口新町二十三番地
一金一百圓也　佐藤すがよ　同所五十八番地
一金一百圓也　高橋農吉　同村字川口中町五十八番地
一金一百圓也　田代多賀志　同村字川口町浦一番地
右昭和十三年三月二十八日登記　古川區裁判所築館出張所

◎楯岡商業組合(變更)
昭和十二年事業年度終了ノ日タル昭和十三年二月二十八日現在ニ於テ出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
一出資ノ總口數　四百十口
一拂込ミタル出資ノ總額　金二千五十圓
右昭和十三年三月二十七日登記　山形區裁判所楯岡出張所

◎保證責任藤根商業組合變更
一昭和十三年三月二十三日其ノ事務所ヲ左ノ地ニ移轉セリ
和賀郡藤根村藤根第十八地割十九番ノ一
右昭和十三年三月二十四日登記　花卷區裁判所黑澤尻出張所

◎保證責任能代雜貨小賣商業組合變更
一昭和十三年三月二十日事務所ヲ左ノ地ニ移轉ス
秋田縣山本郡能代港町能代町字富町家後六十三番地
右昭和十三年三月三十日登記　能代區裁判所

◎家畜保險組合登記

◎兵庫縣揖保郡家畜保險組合變更
一監事三村藤造ハ昭和十三年三月二十四日死亡セリ
右昭和十三年三月三十日登記　龍野區裁判所

◎會津家畜保險組合變更
一理事八田武昭和十三年三月十八日死亡ス
右昭和十三年三月二十九日登記　若松區裁判所

◎漁船保險組合登記

◎漁船保險組合設立
一名稱　根室漁船保險組合
一事務所　根室郡根室町字本町四丁目十二番地
一目的　組合員ノ所有スル漁船ニ付相互保險ヲ爲ス
一設立認可ノ年月日　昭和十三年三月二日
一公告方法　事務所ニ掲示ス
一存立時期又ハ解散事由　定メナシ
一理事ノ氏名住所
梅谷周造　根室郡根室町字本町四丁目十二番地
古澤幸右エ門　同字千島町一丁目十七番地
和泉勝平　同字桂木百二十一番地
碓氷勝三郎　同字常盤町一丁目六番地
山本國之助　同字本町四丁目四十一番地
一監事ノ氏名住所
川端元治　根室郡根室町字鳴海町四丁目三番地
山本泉　同字汐見町十番地
濱元松次郎　同字本町四丁目四十七番地
右昭和十三年三月二十八日登記　根室區裁判所

◎工業組合登記

◎靜岡縣輸出麻眞田工業組合變更
一監事白井種吉松井友太郎ハ昭和十三年三月二十六日重任ス
右昭和十三年三月三十日登記　沼津區裁判所三島出張所

◎木曾平澤漆器工業組合變更
一理事手塚定太郎巣山庄兵衞橋戸伊助太田秀吉手塚保衞ハ昭和十三年三月二十四日重任ス
昭和十三年三月三十日登記　木曾區裁判所木祖出張所

◎見附內地向生絹人絹織物工業組合變更
一昭和十三年三月二十二日吉田芳雄山倉キヨハ組合員竹之內清二佐々木仙一郎ヨリ其持分ノ內一部ヲ讓受加入ス
一組合員氏名住所保證金額
金二百圓　竹之內清二　南蒲原郡見附町大字新町七十九番地
金二百圓　佐々木仙一郎　同大字百番地
金五十圓　山倉キヨ　同大字百二十七番地
金五十圓　吉田芳雄　同町大字本町千六十九番地
昭和十三年三月三十一日登記　長岡區裁判所見附出張所

◎工業組合設立
一名稱　越後麻絹織物工業組合
一事務所　南魚沼郡鹽澤町大字鹽澤千二百二十三番地ノ一
一目的　麻織物及絹織物工業ノ改良發達ヲ圖ル爲メ共同ノ施設ヲ爲スコト
一地區　南魚沼郡一圓
一成立ノ年月日　昭和十三年三月五日
一出資ノ總口數　二百二十二口
一拂込ミタル出資ノ總額　一万一千一百圓
一出資一口ノ金額　金一百圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込ハ一口ニ付金五十圓トシ第二回以後ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口ニ付金五圓ヲ每年九月末日迄ニ拂込マシメ尙必要アルトキハ總會ノ決議ニ因リ隨時拂込マシムルモノトス
一理事ノ氏名住所
荒井豐三郎　南魚沼郡鹽澤町大字鹽澤千四百五十九番地
荒井兵吾　同郡同町同大字千四百六十九番地
井口正吉　同郡同町同大字六十一番地
遠藤捨四郎　同郡六日町大字六日町千八百四番地
磯邊熊治　同郡鹽澤町大字鹽澤千二百二十三番地ノ一
一監事ノ氏名住所
洲崎榮三　南魚沼郡鹽澤町大字目來田九十九番地
中村良吉　同郡六日町大字六日町二千百三十番地
高橋銀治　同郡鹽澤町大字鹽澤百二番地
一解散ノ事由　總會ノ決議又ハ組合ノ合併組合ノ破產解散命令ノアリタルトキ
一各組合員ノ氏名又ハ商號住所及保證金額
金四千五百圓　荒井豐三郎　南魚沼郡鹽澤町大字鹽澤千四百五十九番地
金三千八百圓　高橋銀治　同郡同町同大字百二番地
金二千七百圓　山田定成　同郡同町同大字二百四十七番地
金二千圓　荒井兵吾　同郡同町同大字千四百六十九番地
金一千一百圓　洲崎榮三　同郡同町大字目來田九十九番地
金一千圓　中島甚次郎　同郡同町大字鹽澤九十五番地
金一千圓　常山秀逸　同郡同町同大字百三番地
金一千圓　長野新一郎　同郡同町同大字百九十四番地
金七百圓　井口正吉　同郡同町同大字六十一番地
金七百圓　遠藤捨四郎　同郡六日町大字六日町千八百四十番地
金六百圓　鈴木近藏　同郡同町同大字千百二十五番地
金五百圓　日本輸出麻織物株式會社　同郡鹽澤町大字目來田百九番地ノ一
金五百圓　井口成一郎　同郡同町大字鹽澤千二百二十一番地
金四百圓　中村良吉　同郡六日町大字六日町二千百三十番地
金三百圓　石井文一郎　同郡鹽澤町大字鹽澤百六十二番地
金二百圓　石井雄輔　同郡同町同大字百四十四番地
金二百圓　小島京平　同郡六日町大字六日町三百六十番地
金一百圓　井口恒太郎　同郡鹽澤町大字鹽澤百七十五番地
金一百圓　吉田政一郎　同郡同町同大字百八番地
金一百圓　牛木喜之助　同郡同町同大字千二百十九番地
金一百圓　上村喜平　同郡同町同大字千五十九番地
金一百圓　井上三平　同郡藪神村大字一村尾三百三十四番地
金一百圓　井上市助　同郡同村同大字二百八十番地
金一百圓　小林幸雄　同郡中之島村大字中子新田甲二百三十三番地
金一百圓　笛木積十郎　同郡鹽澤町大字栃窪四百八十番地
金一百圓　遠藤榮三　同郡六日町大字六日町千八百八十四番地
金一百圓　瀧澤義久　同郡同町大字小栗山八百二十五番地
昭和十三年三月二十九日登記　六日町區裁判所

◎工業組合聯合會設立(從タル事務所)
一名稱　日本天鵞絨工業組合聯合會
一主タル事務所　京都市上京區今出川通大宮東入元伊佐町二百六十五番地ノ一
一從タル事務所
岐阜縣羽島郡竹ケ鼻町大字狐六千九百八十五番地
大阪府三島郡豐川村大字道祖本九百三十九番地
福井縣遠敷郡鳥羽村大字鳥羽第二十四號二十六番地
滋賀縣坂田郡長濱町大字米川六番地
一目的　所屬組合相互ニ氣脈ヲ通シ斯業改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一地區　內地一圓
一成立年月日　昭和十三年二月一日
一出資ノ總口數　一百口
一拂込タル出資ノ總額　金二千五百圓
一出資一口ノ金額　金一百圓
一出資拂込ノ方法　出資ハ金錢ヲ以テ拂込ムモノトシ第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二十五圓トス第二回以後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金中ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口ニ付金五圓ヲ每年五月末日迄ニ拂込マシメ尙必要アルトキハ總會ノ決議ニヨリ隨時拂込マシムルモノトス
一理事ノ氏名住所
家島敬造　京都市上京區今出川通大宮東入元伊佐町二百六十五番地ノ一　西陣天鵞絨工業組合理事
堀順一　岐阜縣羽島郡竹ケ鼻町大字狐穴二千九百八十五番地　岐阜縣竹ケ鼻天鵞絨工業組合理事
山田貞一郎　滋賀縣坂田郡長濱町大字米川六番地　滋賀縣天鵞絨工業組合理事
岸定吉　大阪府三島郡豐川村大字道祖本九百三十九番地大阪府茨木天鵞絨工業組合理事
島津金治郎　福井縣遠敷郡鳥羽村小原第十七號四番地
一監事ノ氏名住所
石田喜三郎　京都市上京區今出川通大宮東入元伊佐町二百六十五番地ノ一　西陣天鵞絨工業組合監事
石崎庄三郎　滋賀縣坂田郡長濱町大字米川六番地　滋賀縣天鵞絨工業組合監事
小塚仙治　岐阜縣羽島郡竹ケ鼻町大字狐穴二千九百八十五番地　岐阜縣竹ケ鼻天鵞絨工業組合監事
昭和十三年三月二十二日登記　大阪區裁判所茨木出張所

◎三河幡豆織物工業組合變更
一理事ニ昭和十三年三月二十日左ノ者就任ス
鈴木藤吉　幡豆郡一色町大字一色字上屋敷百四十六番地
昭和十三年三月三十日登記　岡崎區裁判所西尾出張所

◎神明輸出人造絹織物工業組合變更
一理事山本德彥ハ昭和十三年三月二十四日死亡ス
右昭和十三年三月二十九日登記　武生區裁判所鯖江出張所

◎長崎洋家具工業組合(變更)
理事横田純之ハ昭和十三年二月六日重任ス
右昭和十三年三月二十九日登記　長崎區裁判所

◎工業組合設立
一名稱　仙臺軍手工業組合
一事務所　仙臺市成田町十七番地
一目的　軍手工業ノ改良發達ヲ圖ル爲メ共同ノ施設ヲ爲ス
一地區　仙臺市及名取郡閖上町一圓トス
一設立認可年月日　昭和十三年三月十七日
一出資ノ總口數　二十五口
一拂込タル出資ノ總額　金五百圓也
一出資一口ノ金額　金二十圓也
一出資拂込ノ方法　全額拂込濟
一理事ノ氏名住所
波多野信一　仙臺市成田町十七番地
高橋正次郎　仙臺市北五番丁百八十一番地
庄司春治　仙臺市原町南目百四十六番地
一監事ノ氏名住所
入駒長治郎　仙臺市鐵砲町十番地
相原淸四郎　仙臺市長町字北町八十二番地
右昭和十三年三月二十二日登記　仙臺區裁判所

◎工業組合設立
一名稱　福島縣織物用綿絲染色工業組合
一事務所　福島縣安達郡本松町字東池ノ入六十六番地
一目的　織物用綿絲染色工業ノ改良發達ヲ圖ル爲メ共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス
一地區　福島縣一圓
一成立ノ年月日　昭和十三年三月三日
一出資ノ總口數　百九口
一拂込ミタル出資總額　金五百四十五圓
一出資一口ノ金額　金二十圓
一出資拂込ノ方法　第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス第二回以後ノ拂込ハ配當スヘキ剩餘金中ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外理事會ノ決議ニヨル
一理事ノ氏名住所
山田宗三郎　福島縣安達郡二本松町字東池ノ入六十六番地
橘廣治　同縣同郡同町字若宮二ノ二十二番地
岩井辰藏　同縣同郡油井村字瓦小屋四十五番地
佐藤傳吉　同縣同郡本宮町字荒町三十八番地
遠藤松榮　同縣同郡同町字中條八十九番地
久間木信吉　同縣郡山市字堤下町二十二番地
瀨野道助　同縣福島市松木町七番地
渡邊半藏　同縣岩瀨郡須賀川町東一丁目二十八番地
一監事ノ氏名住所
遠藤忠藏　福島縣安達郡二本松町字松岡五十二番地
春日八四郎　同縣耶麻郡猪苗代町字古城町五十六番地
佐藤巳三郎　同縣田村郡三春町字荒町十番地
一解散ノ事由　一總會ノ決議二組合ノ合併三組合ノ破產四解散命令
右昭和十三年三月三十日登記　福島區裁判所二本松出張所

◎工業組合設立
一名稱　保證責任黑澤尻鐵工機械器具工業組合
一事務所　和賀郡黑澤尻町里分十八地割九十六番地
一目的　鐵工業ノ改良發達ヲ圖ル爲メ共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス
一地區　和賀郡黑澤尻町江釣子村藤根村横川目村鬼柳村膽澤郡相去村
一設立認可ノ年月日　昭和十三年三月十日
一出資ノ總口數　三百口
一拂込タル出資ノ總額　金一千五百圓也
一出資一口ノ金額　金二十圓也
一出資拂込ノ方法　第一回拂込一口ニ付金五圓トシ第二回以後ノ拂込ハ配當スヘキ剩餘金中ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外必要アル時ハ總會ノ決議ニ依リ隨時拂込ヲ爲サシムルモノトス
一理事ノ氏名住所
齋藤重吉　和賀郡黑澤尻町里分十八地割九十六番地
內田正道　同上十六地割二百番地
佐藤友藏　同上十六地割二百番地イ號
熊谷登好　同上十八地割二百六十番地
石川卯之松　同郡横川目村大字横川目字門神十六地割七番地ノ一
一監事ノ氏名住所
佐藤倉吉　和賀郡黑澤尻町町分十三地割二十四番地ノ一
高橋長八　同上二十番地ノ三
一保證金額組合員ノ氏名住所
金千圓也　佐藤友藏　和賀郡黑澤尻町里分十六地割二百番地イ號
金千圓也　高橋長八　同上町分十三地割二十番地ノ三
金千圓也　熊谷登好　同郡同町里分十八地割二百六十番地
金七百圓也　八重樫喜助　同郡同町町分丹波二十九番地
金六百圓也　佐藤倉吉　同郡同町町分十三地割二十四番地ノ一
金四百八十圓也　石川卯之松　同郡横川目村横川目字門神十六地割七番地ノ一
金四百圓也　小瀨川彌平　同郡黑澤尻町里分十五地割三十七番地
金百圓也　小笠原保之助　同上町分十六地割四百五十七番地
金百圓也　阿部林八　同郡同町里分十七地割十八番地
金百圓也　鬼柳與三郎　同郡同町里分二十地割一番地
金百圓也　阿部德左衞門　同郡藤根村長沼十八地割一番地イ號
金八十圓也　昭井德助　同郡横川目村横川目字蛭川十一地割二百四十番地
金四十圓也　川尻勝雄　同郡黑澤尻町里分十八地割三十七番地
金四十圓也　佐藤武雄　同上十五地割四十七番地
金四十圓也　鬼柳綱吉　同郡同町町分十七地割一番地
金四十圓也　佐藤金作　同上十三地割百六十五番地
金二十圓也　照井權太郎　同郡同町里分十六地割二百四十三番地
金二十圓也　鬼柳兼松　同郡同町町分十三地割二十一番地
金二十圓也　佐藤喜三郎　同上十九番地ノ二
金二十圓也　鬼柳嘉吉　同郡鬼柳村下鬼柳四地割百四十六番地
金四十圓也　千田雄藏　膽澤郡相去村字町七十二番地
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
昭和十三年三月二十九日登記　花卷區裁判所黑澤尻出張所

第3414号　本文

◉海外移住組合登記

◉埼玉縣海外移住組合變更
一昭和十三年一月十一日左ノ者理事ニ就任ス
伊藤久松　浦和市高砂町三丁目三十七番地ノ一
昭和十三年三月三十日登記　浦和區裁判所

◉群馬縣海外移住組合變更
一理事一名缺員ニ付昭和十三年三月十一日左ノ者就任ス
石川燕　前橋市石川町十一番地
一監事全員任期滿了ニ付昭和十三年三月十一日左ノ者就任ス
青木由平　勢多郡芳賀村大字嶺五十三番地
杉山貞雄　前橋市岩神町百九十三番地
清水善助　同市芳町二十七番地
昭和十三年三月二十九日登記　前橋區裁判所

◉福井縣海外移住組合變更
監事全員任期滿了ノ處昭和十三年三月十九日森慶之松見半十郎ハ重任左ノ者監事ニ新任ス
磯田市太郎　吉田郡月山東村下四ツ居六號百六番ノ一
右昭和十三年三月二十九日登記　福井區裁判所

◉宮城縣海外移住組合變更
一昭和十三年二月十一日理事齋藤永治ハ死亡ス
右昭和十三年三月二十四日登記　仙臺區裁判所

◉牧野組合登記

◉大落瀨放牧牧野組合變更
一理事全員任期滿了ニ付昭和十三年二月二十六日左記者新ニ理事ニ就任ス
松浦市太郎　上北郡六戸村大字犬落瀨字森山一番地
松村　兼吉　同所字押込二十三番地一號
高見　勇助　同所字高見九十六番地三號
田中　正人　同所字中川原四十二番地一號
杉山　市助　同所字後田六番地
田中　一二　同所字明土八番地
島山寅次郎　同所字後田三十二番地
昭和十三年三月三十日登記　八戸區裁判所三本木出張所

◉産業組合登記

◉保證責任大久保信用販賣購買利用組合變更
一理事山下鶴吉瀨谷善四郎山崎常吉ハ昭和十三年三月六日重任シ同日左ノ者理事ニ就任ス
志村平吉　北足立郡大久保村大字下大久保七百十三番地
田中信吉　同郡同村大字白鍬四百七十九番地
一監事新井彦四郎川島紋藏關口仲三郎伊藤七九郎ハ昭和十三年三月六日重任シ同日左ノ者監事ニ就任ス
榎本　次平　北足立郡大久保村大字下大久保九百九十六番地
土橋保太郎　同郡同村大字宿四十三番地
逸見嘉兵衛　同郡同村大字五關八百五十一番地

◉保證責任美谷本信用販賣購買組合變更
一理事峰岸善之助ハ昭和十三年三月七日死亡ス

◉保證責任芝信用販賣購買利用組合變更
一理事今泉嘉幸小泉金三本多勝之助須賀啓治島根菊太郎並木和助小林隆祐澤田貞祐ハ昭和十三年二月二十二日重任シ同日左ノ者理事ニ就任ス
柳田鶴藏　北足立郡芝村大字芝六千八百五十番地
昭和十三年三月三十日登記　浦和區裁判所

◉保證責任北埼川邊信用販賣購買利用組合變更
一昭和十三年三月二十六日監事補缺選擧ヲ爲シタルニ左ノ者選任セラレ同月二十七日監事ニ就任ス
小堀忠七　北埼玉郡川邊村大字向古河六百六十六番地

◉保證責任村君信用販賣購買利用組合變更
一理事平井逸平山口勝三落合長一天笠利根太郎田口金太郎ハ昭和十三年三月十八日重任ス
一監事秋山半次郎荻原馬太郎栗原正作飯塚常藏荻野多一郎ハ同日重任ス
昭和十三年三月三十日登記　浦和區裁判所大越出張所

◉保證責任八木郷村信用販賣購買利用組合移轉
一昭和十三年三月十日事務所ヲ左ノ地ニ移轉ス
北葛飾郡八木郷村大字下新田三百二十八番地ノ四

◉保證責任吉川町信用販賣購買組合變更
一理事竹内金六菊名吉左ヱ門山崎八太郎豐田吉兵衞岡田倉藏大澤勇藏臨田德太郎染谷己之助ハ昭和十三年三月一日重任シ同日左ノ者理事ニ就任ス
島根　幸佐　北葛飾郡吉川町大字川野六番地
鈴木久次郎　同郡同町大字高久七十番地
一監事加崎覺藏戸張新助加藤五太ハ昭和十三年三月一日重任シ同日左ノ者監事ニ就任ス
榎本直次郎　北葛飾郡吉川町大字保六十八番地
和井田貞三郎　同郡同町大字木賣九十七番地
昭和十三年三月三十日登記　越ケ谷區裁判所吉川出張所

◉保證責任柳瀨村信用販賣購買利用組合變更
一理事野澤啓次郎山下敬輔鈴木吉治ハ昭和十三年三月五日重任シ左ノ者同日理事ニ就任ス
長倉喜十郎　入間郡柳瀨村大字城三十七番地
杉田　彌　同郡同村大字坂之下二百四十五番地イノ一
見澤鍋太郎　同郡同村大字日比田二百七番地
一監事内藤平三郎増田岩吉ハ昭和十三年三月五日重任シ左ノ者同日監事ニ就任ス
池田龜壽　入間郡柳瀨村大字城五百十番地
昭和十三年三月三十一日登記　川越區裁判所所澤出張所

◉保證責任堀兼村信用販賣購買利用組合變更
一補缺ニ因リ昭和十三年二月二十八日左ノ者理事ニ就任ス
與富賢三　入間郡堀兼村大字加佐志三十一番地
一補缺ニ因リ同日左ノ者監事ニ就任ス
岩田忠平　入間郡堀兼村大字青柳千五百七十番地
豐泉義三　入間郡堀兼村大字青柳三百九十七番地
三ツ木百太郎　入間郡堀兼村大字東三ツ木三百三十八番地
昭和十三年三月三十日登記　川越區裁判所入間川出張所

◉保證責任勝呂村信用販賣購買利用組合變更
一監事守屋泰治郎宇津木平治新井喜一水村喜治ハ昭和十三年三月五日重任ス
昭和十三年三月三十一日登記　川越區裁判所坂戸出張所

◉保證責任多賀郡鮑販賣利用組合變更
一理事金成寅次郎大坂德次村田金兵衞村山勵富田伊勢松ハ昭和十三年三月十二日重任ス
昭和十三年三月三十一日登記　水戸區裁判所高萩出張所

◉保證責任大谷村信用購買販賣利用組合變更
一昭和十三年三月二十三日目的中左ノ一號ヲ加フ
八農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲナスコト
昭和十三年三月二十八日登記　栃木區裁判所小山出張所

◉保證責任木瀨信用購買販賣利用組合變更
一理事石井熊太郎女屋國次郎監事阿久津律ハ昭和十三年三月六日辭任ス
一理事監事缺員ニ付昭和十三年三月六日左者就任ス
理事　阿久津　律　勢多郡木瀨村大字下増田乙八番地
同　今井七郎治　同郡同村大字野中三十八番地
同　田代字太郎　同郡同村大字上大島四十三番地
監事　石井熊太郎　同郡同村大字小屋原千二百九十六番地
昭和十三年三月三十一日登記　前橋區裁判所

◉保證責任富士見信用購買販賣利用組合變更
一監事全員任期滿了ニ因リ昭和十三年三月六日小見福八高田長三郎狩野松太郎石井武平須田三省大友喜代作須山幾久治北澤秀雄ハ各重任シ左者新任ス
高山龜之亟　勢多郡富士見村大字原之鄕九十八番地
下田　淺吉　同郡同村大字石井千二百九十二番地
樺澤　貞三　同郡同村大字小暮九百七十四番地
右昭和十三年三月三十一日登記　前橋區裁判所

◉保證責任水上信用販賣購買利用組合變更
一理事阿部助次郎ハ昭和十三年三月二十日退任ス
昭和十三年三月二十九日登記　沼田區裁判所水上出張所

◉保證責任大箇野信用販賣購買利用組合變更
一監事田島元吉川島豐次高瀨龜吉荒木長一郎落合彦四郎早川幸太郎新井卯一郎ハ昭和十三年一月二十六日各重任ス
昭和十三年三月三十日登記　新田區裁判所伊奈良出張所

◉保證責任山田信用購買組合變更
一監事宮崎庄平ハ昭和十三年三月三日重任ス

◉保證責任山田信用購買組合變更
昭和十三年三月二日目的名稱出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法存立時期ヲ左ノ如ク變更ス
一目的
一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
一名稱　保證責任山田信用組合
一出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法　出資一口ノ金額ハ金三十圓トス出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓以上トス第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年三月末及九月末迄ニ金三圓以上宛拂込ムモノトス
一存立時期　昭和十五年十二月三十一日迄トス

◉有限責任新井信用組合變更
一淸算人小池要ハ昭和十二年十一月二日死亡ス

◉有限責任鄕原購買組合變更
一監事山崎榮太郎關榮太郎小池武雄ハ昭和十三年三月一日重任シ左記ノ者同日監事ニ就任ス
一場鍋市郎　吾妻郡岩島村大字厚田九百二番地
松井　文作　同郡同村大字鄕原五百十四番地

◉保證責任漆貝戸信用購買組合解散
一總會ノ決議ニ因リ昭和十三年三月二日解散ス

◉保證責任折田報德信用購買組合變更
昭和十三年三月二日目的名稱事務所出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法存立時期ヲ左ノ如ク變更ス
一目的
一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
一名稱　保證責任折田報德信用組合
一出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法　出資一口ノ金額ハ金十圓トス出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金一圓以上トス第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年三月末及十月末迄ニ金一圓以上宛拂込ムモノトス
一事務所　吾妻郡澤田村大字折田三百四番地
一存立時期　昭和十五年十二月三十一日迄トス

◉保證責任四萬信用購買組合變更
昭和十三年三月二日目的名稱出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法存立時期ヲ左ノ如ク變更ス
一目的
一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
一名稱　保證責任四萬信用組合
一出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法　出資一口ノ金額ハ金十圓トス出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金一圓以上トス第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年一月末及八月末迄ニ金一圓以上宛拂込ムモノトス
一存立時期　昭和十五年十二月三十一日迄トス
昭和十三年三月二十二日登記　中之條區裁判所

◉保證責任方場信用販賣購買利用組合變更
理事全員任期滿了ノ處昭和十三年三月十八日前理事者全員再選重任ス
昭和十三年三月三十一日登記　北甘樂區裁判所方場出張所

◉保證責任大長西信用販賣購買利用組合變更
昭和十三年二月二十八日左記ノ者理事ニ就任ス
天野　勘次　志太郡大長村相賀五一六番地
田中　清吉　同所一三二八番地
權田辰治郎　同所二二八七番地
中澤正太郎　同郡同村神座一〇八二番地
柴田　米藏　同所一〇八四番地
池ケ谷熊太郎　同所七四五番地
松浦幸太郎　同郡同村鵜網三八八番地
同日左記ノ者監事ニ就任ス
大石　昇　志太郡大長村相賀二四〇番地
松下　賢一　同所一九九番地
山田　源吾　同所一九四五番地
中野　惣吉　同所一四五一番地
龜山　秀一　同郡同村神座乙一九番地
北川千代治　同所六七番地
鈴木　幸藏　同所九三五番地
右昭和十三年三月二十四日登記

◉有限責任島田町信用組合變更
監事大塚再助渡邊錠次郎増田泰藏安原米藏佐塚淺吉清水淸太ハ昭和十三年三月六日重任ス
右昭和十三年三月二十五日登記

◉保證責任駿遠醫療利用組合變更
昭和十三年三月三十日名稱及區域ヲ左ノ通リ變更ス
名稱　保證責任島田醫療利用組合
區域　靜岡縣志太郡島田町青島町東川根村笹間村及榛原郡相良町上川根村御前崎村トス但シ志太郡東川根村笹間村及榛原郡相良町上川根村御前崎村ハ登記ノ日ヨリ一箇年限リトス
右昭和十三年三月三十一日登記　靜岡區裁判所島田出張所

◉保證責任千賀村信用販賣購買利用組合變更
昭和十三年三月二十九日目的及出資拂込ノ方法ヲ左ノ通變更ス
目的中ニ左ノ通追加　農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス組合員ハ前項ノ金額ヲ超エテ任意ニ拂込ヲ爲スコトヲ得第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年六月末及十二月末迄ニ金二圓五十錢宛拂込モノトス第二項ノ規定ハ前項ノ拂込ニ準用ス
右昭和十三年三月三十日登記　掛川區裁判所大坂出張所

◉保證責任白羽信用購買販賣利用組合變更
理事松下重次郎増田庫太郎栗林房吉鈴木淺一増田市右衞門曾根熊藏ハ昭和十三年二月二十六日各重任シ左記ノ者同日新ニ理事ニ就任ス
丸山和一　榛原郡白羽村四百三十七番地
右昭和十三年三月二十五日登記　掛川區裁判所相良出張所

◉保證責任玉幡勸農信用販賣購買利用組合變更
一理事花輪助治花輪彌一郎新海東洋太新海喜太郎志村政行大木菊藏長谷川苗賓田中嘉一監事坂木文作淸水寅二郎塚原太郎ハ昭和十三年一月三十日各再選重任シ左者監事ニ新任ス
田中正則　中巨摩郡玉幡村西八幡八百五十五番地

◉保證責任小井川信用販賣購買利用組合變更
一監事中澤慶三郎藤巻芳廣河西義房三井喜幸相原見二郎樋口文之竹野三造ハ昭和十三年一月二十四日各再選重任シ左者理事監事ニ新任ス
理事　今村幸一　中巨摩郡小井川村布施千九百四十二番地
監事　渡邊貞夫　同郡同村八十九番戸

◉保證責任龍王信用販賣購買利用組合變更
一監事青柳德太郎小宮山龜太郎ハ昭和十三年二月三日各辭任ス
一左者昭和十三年二月七日理事監事ニ新任ス
理事　青柳德太郎　中巨摩郡龍王村龍王千七百八十四番地
同上　神澤　伴三　同郡同村篠原二千九百十番地
監事　齋藤　作一　同郡同村龍王千百七十二番地
同上　小池　善次　同郡同村同字千八百四十六番地
右昭和十三年三月三十日登記　甲府區裁判所龍王出張所

◉保證責任野之瀨信用販賣購買利用組合變更
昭和十三年二月六日理事ニ櫻田嶺二青柳嘉幸秋山宗晴石川鼎入倉政意上田猛太郎上田正藏山本正雄青柳眞長沼豐丸ハ各重任シ左者理事ニ新任ス
一理事ノ氏名住所
小野熊次郎　中巨摩郡野之瀨村中野二千五百二十六番地
小松春治郎　同郡同村同字二千九十四番地
右昭和十三年三月三十一日登記　甲府區裁判所小笠原出張所

◉保證責任安都玉信用販賣購買利用組合變更
昭和十三年一月三十一日理事與水象二ハ辭任シ同年二月八日左ノ者理事ニ新任ス
淺川幸之　北巨摩郡安都玉村長澤千六百四十七番地
右昭和十三年三月三十日登記　甲府區裁判所安都那出張所

◉保證責任柏原村信用販賣購買利用組合變更
一監事小林重由山田利治ハ昭和十三年一月三十日退任シ中村嘉平山林主計黒田賢象今井秀利ハ重任シ左記ノ者新ニ同日監事ニ就任ス
小林　利信　長野縣上水内郡柏原村千四百十八番ロ號一號地
小林龜太郎　同縣同郡同村百九十七番地内一番
昭和十三年三月二十二日登記　長野區裁判所柏原出張所

◉保證責任販賣利用組合興津永田農業倉庫解散
昭和十二年十二月二十一日解散ノ決議ヲ爲シ昭和十三年二月十八日解散ス
昭和十三年三月十九日登記

◉保證責任富倉信用販賣購買利用組合變更
理事阿部助三郎上野文治郎逵家莞作阿部平吉丸山芳廣監事上野爽夫ハ昭和十三年一月三十日重任シ同日左記ノ者新ニ理事監事ニ就任ス
理事ノ氏名住所
丸山長助　長野縣下水内郡柳原村大字富倉三百一番地
監事ノ氏名住所
仲條隆治　同縣同郡同村大字同五百八番地
丸山常吉　長野縣下水内郡柳原大字富倉三千二百九番地一號
阿部佐義　同縣同郡同村大字同九十二番地
昭和十三年三月二十九日登記　飯山區裁判所

◉保證責任和信用販賣購買利用組合變更
一理事兒玉爲次郎ハ昭和十三年三月十六日死亡セリ
昭和十三年三月二十九日登記　上田區裁判所縣出張所

第3414号 本文

◎相續財産管理人選任

昭和十三年(非)第三號

最後ノ住所中華民國上海パブリングウエル街マゼスチックアパートメンツ三〇一號無職

被相續人　マリーワイスハウプト

西暦千九百二年十二月二十四日生

出生場所不明

西暦千九百三十八年四月二十三日前記住所ニ於テ死亡

中華民國上海四川路二百九十九號

辯護士相續財産管理人　岡本　乙一

當館ハ檢事事務取扱外務省警部太田德三郎ノ請求ニ因リ昭和十三年五月五日前記岡本乙一ヲマリーワイスハウプトノ相續財産管理人ニ選任シタリ

昭和十三年五月五日　在上海帝國總領事館

本籍長崎市今博多町四十九番地

最後ノ住所同市出來大工町二十六番地平民無職

被相續人　内田　サタ

文久二年九月二十五日生

出生ノ場所不詳

昭和十二年二月十七日最後ノ住所ニ於テ死亡

當區裁判所ハ利害關係人東京市内幸町一丁目一番地株式會社日本勸業銀行ノ申立ニ因リ昭和十三年五月十二日西彼杵郡時津村七百二十六番戸山北佐太郎ヲ右被相續人ノ相續財産管理人ニ選任シタリ

昭和十三年五月十二日　長崎區裁判所

本籍西松浦郡東山代村大字大久保三四〇五番地

最後ノ住所同郡同村大字瀧川内三三八番地戸主無職

被相續人　亡　杉谷新次郎

嘉永二年正月二十七日本籍ニ於テ出生昭和九年四月七日西松浦郡東山代村大字瀧川内三三八番地ニ於テ死亡

利害關係人同郡同村大字瀧川内二〇九三番地加賀良幸助ノ申請ニ因リ被相續人ノ相續財産管理人ニ左ノ者ヲ選任ス

西松浦郡東山代村大字大久保三三八四番地

杉谷　虎藏

昭和十三年五月十一日　伊萬里區裁判所

◎準禁治産宣告

京都市右京區山田上ノ町九番地

玉村　長平

明治二十六年九月五日生

右者ニ對シ其母すかノ申立ニヨリ當裁判所ハ昭和十三年五月十二日浪費者ト認メ準禁治産宣告ヲ爲シタリ

昭和十三年五月十二日　京都區裁判所

本籍並住所香川縣大川郡白鳥本町大字歸來甲百十三番地

木村　キヨ

明治二十六年三月三日生

本籍並住所香川縣大川郡白鳥本町大字歸來甲百十三番地

木村　コト

明治二十九年七月二十五日生

右ノ者ニ對シ香川縣大川郡引田町七百五十六番地ノ一木村岩吉ノ申立ニヨリ當裁判所ハ昭和十三年五月十一日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

昭和十三年五月十二日　高松區裁判所

◎公示催告

昭和十三年(ヘ)第一四號

東京市深川區高橋四丁目八番地

申立人　德島佐太郎

別紙表示ノ船荷證券ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和十三年十一月二十九日午前十時迄ニ當區裁判所ニ權利ヲ屆出テ且ツ船荷證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サザルニ於テハ其無效ヲ宣言スルコトアル可シ

昭和十三年五月十四日

東京區裁判所

判事　中村　武

（別紙）

證書目錄

一船荷證券　一通
一船舶ノ名稱及國籍　日本帝國汽船第二五次神州丸
一運送品
荷印　無印
品名　鐵力屑
箇數　二四〇箇
容積　一二八〇才
一荷送人　二葉商店
一荷受人　德島佐太郎
一荷送扱人　近海郵船株式會社
一船積港　安平港
一陸揚港　東京港
一輸出地　臺灣安平
一輸入地　東京市

京城府漢江通十六番地

申立人　進昌洋行コト　長曾我部鼎

一證券ノ名稱　大阪商船株式會社荷物受取證
一證券番號　第六〇二號
一荷姿及品名　束丸鐵
一箇數　二百四十五束
一重量　一万五千四十三瓩
一價格　三千七百圓也
一船積港　大阪
一陸揚港　羅津
一荷積船舶名稱及國籍　大同丸、日本
一荷送人　株式會社北島商店
一荷受人　進昌洋行
一證券作成地　大阪
一證券作成人　大阪商船株式會社
一發行年月日　昭和十三年四月二日

右證券ニ付申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其ノ所持人ハ昭和十三年十二月二十日午前十時迄ニ當廳ニ權利ヲ屆出テ且ツ右證券ヲ提出スヘシ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲ササルニ於テハ其ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ

昭和十三年五月十日

清津地方法院雄基支廳

朝鮮總督府判事　齋藤　一郎

◎破産管財人變更

米子市道笑町一丁目二番地

破産者　株式會社山陰銀行

右ニ對スル昭和八年(フ)第五號破産事件ニ付破産管財人白根唐之助ハ昭和十三年五月十四日死亡シタルヲ以テ後任破産管財人ニ左ノ者ヲ選定ス

米子市西町八十九番地

橋谷繁三郎

昭和十三年五月十七日　米子區裁判所

◎破産手續終結

破産者　有限責任中舞鶴信用組合

右昭和九年(フ)第一號破産事件ニ付最後ノ配當手續ニ依リ破産終結シタルヲ以テ左ノ如ク公告ス

一本件破産手續ハ之ヲ終結ス

昭和十三年五月二十一日　舞鶴區裁判所

◎債權者集會招集

破産者　北濃鐵道株式會社

右ノ者ニ對スル昭和四年(フ)第三五號破産事件ニ付當裁判所ハ破産管財人ノ申立ニ依リ債權者集會ヲ當廳ニ於テ招集スルコト左ノ如シ

一日時　昭和十三年六月九日午前九時
一會議ノ目的　中川三右衛門外四人ニ對スル株金拂込義務一部免除ニ關スル決議ヲ爲ス件

昭和十三年五月二十日　岐阜區裁判所

◎債權者集會期日變更

紋別郡紋別町大字紋別村二十六番地

債務者　松田　鉄藏

右者ニ對スル昭和十二年(コ)第一號和議事件ニ付公告スルコト左ノ如シ

債權者集會期日昭和十三年五月二十七日午前十時ナル處之ヲ同年六月十六日午前十時ト變更ス

昭和十三年五月十九日　名寄區裁判所

◎臺灣銀行券發行週報

自昭和十三年五月八日
至昭和十三年五月十四日　臺灣銀行券發行平均高

銀行券發行高	九六、三四六、一二三・〇〇
內制限外發行	一、四一八・〇〇
準備	四六、三四四、七〇七・〇〇
保證	五〇、〇〇一、四一六・〇〇

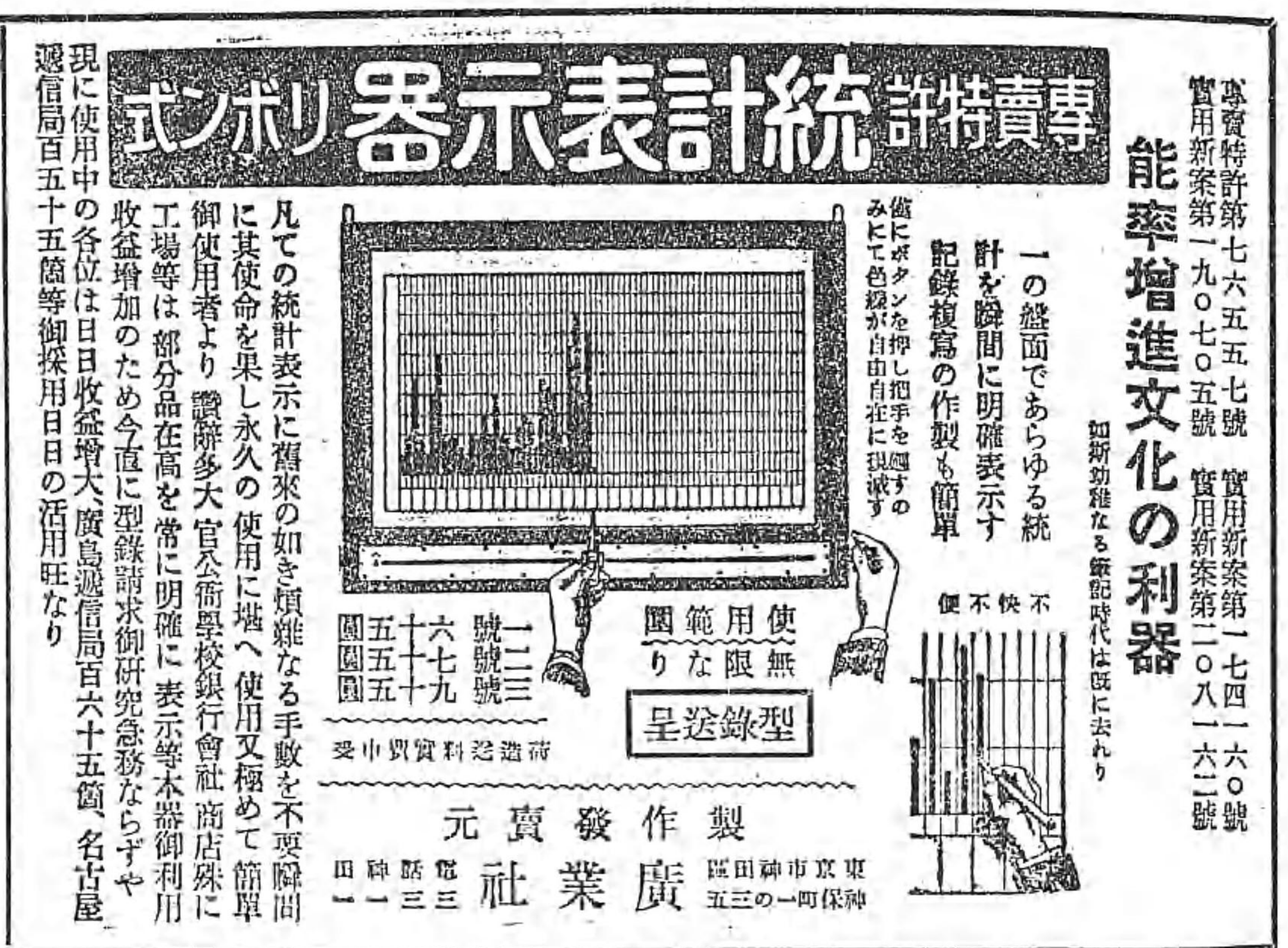
昭和十三年五月十六日　株式會社臺灣銀行

正誤

本月十一日廣告二別刷商業登記ノ項中八日市場區裁判所銚子出張所ノ部一頁二段十八行「宮崎縣」ハ「宮城縣」東京區裁判所ノ部一四頁四段二十六行「就任ス」ハ「就職ス」一五頁一段二十七行「加藤津彌」ハ「加藤津禰」ノ孰モ誤植

◎外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

	通常 普通 月日時	通常 書留 月日時	小包 月日時	郵便船出帆港	船名
南支那、香港、フィリピン群島、海峡殖民地、英領印度等行	五、二六後九半	五、二六後九	—	神戸	サーダーナ號
	同二七前九	同二七前八半	—	門司	靖國丸
香港、フィリピン群島、濠洲、新西蘭等行	同二六前九	同二六前八半	—	同	タンダ號
海峡殖民地、英領印度等行	同二六前九	同二六前八半	—	同	ひまらや丸
布哇、米國、加拿陀、南米等行	同二六後零二〇	同二六前一一、四〇	五、二六前一〇、一五	横濱	墨洋丸
	同二六後五、一〇	同二六後四、四〇	同二六前一〇、一五	同	プレジデント、クリーヴランド號
加拿陀、米國、南米等行	同二六後二、一〇	同二六後零四〇	同二六前一〇、一五	同	氷川丸
米國、加拿陀、南米等行	同二七後零一〇	同二七前一一、四〇	同二七前一〇、一五	同	北陸丸



專賣特許　統計表示器　リボン式

專賣特許第七六五五七號　實用新案第一七四一六〇號
實用新案第一九〇七〇五號　實用新案第二〇八一六二號

能率增進文化の利器

如斯幼稚なる統計時代は既に去れり

一の盤面であらゆる統計を瞬間に明確表示す
記錄複寫の作製も簡單

僅にボタンを押し把手を廻すのみにて色線が自由自在に現滅す

凡ての統計表示に將來の如き煩雜なる手數を不要瞬間に其使命を果し永久の使用に堪へ使用又極めて簡單御使用者より讚辭多大官公衙學校銀行會社商店殊に工場等は部分品在高を常に明確に表示等本器御利用收益增加のため今直に型錄請求御研究急務ならずや
現に使用中の各位は日日收益增大、廣島遞信局百六十五箇、名古屋遞信局百五十五箇等御採用日日の活用旺なり

一號　六十五圓
二號　七十五圓
三號　九十五圓

荷造送料實費申受

使用範圍無限なり

型錄送呈

製作發賣元
東京市神田區神保町一の三五
廣業社
電話神田三三一一

株式名義書換停止公告

當行定款第二十條ニ據リ來ル六月一日ヨリ臨時株主總會終了迄株式ノ名義書換ヲ停止候也

昭和十三年五月二十四日

株式會社　臺灣銀行

公告

昭和十三年六月一日ヨリ定時株主總會終日ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス

大阪市東區平野町三丁目十三番地
峯山金山株式會社

國産最高級
萬邦ペン
見本ハ切手十錢封入封筒ニ四錢貼付御請求を乞フ
東京小石川區丸山町一六
萬邦ペン見本係

第壹回事業報告

貸借對照表（昭和拾參年四月參拾日現在）

借方（資産之部）

	圓
未拂込資本金	三、七五〇、〇〇〇・〇〇
土地	三七四、八六一・八二
備品	七九・五〇
建設假勘定	一〇、二五三・五三
貸付金	九〇〇、〇〇〇・〇〇
預金	二〇、三九二・七四
現金	三一九・九一
前拂金	一〇八、〇〇〇・〇〇
合計	五、一六三、九〇七・五〇

貸方（負債之部）

	圓
資本金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
土地代未納金	一六〇、六二〇・〇七
買掛金	二八・一六
前受金	一、九八〇・〇〇
當期純利益	一、二七九・二七
合計	五、一六三、九〇七・五〇

昭和拾參年五月

矢作製鐵株式會社

第壹期決算報告

（自昭和拾貳年四月拾五日　至昭和拾參年參月參拾壹日）

貸借對照表（昭和拾參年參月參拾壹日現在）

資産之部

	円
未拂込資本金	一五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
固定財産	八九、二四五・一九
投資	五〇〇、〇〇〇・〇〇
未成工事	三、三一二、九〇六・四四
貯藏品	二〇七、三九七・三七
未收入金	四、九九五、九五一・八〇
預ケ金	一、三三三、四六七・六三
現金	一二五・九一
假拂金	二九一、六六六・七四
華北電政總局立替金	二六〇、〇〇〇・〇〇
華中電信電話工事立替金	一七八、四三三・七二
雜項目	九三七・九四
合計	二六、一七〇、一三二・七四

負債之部

資本金	二〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
支拂未濟金	五、六五〇、八三七・三五
假受金	一〇〇、〇〇〇・〇〇
當期利益金	四一九、二九五・三九
合計	二六、一七〇、一三二・七四

昭和拾參年五月

日本電信電話工事株式會社

取締役社長　田邊隆二
常務取締役　長島正隆
同　武田泰郎
取締役　小倉正恒
同　淺野總一郎
同　中川末吉
同　小平浪平
同　山口喜三郎
監查役　吉村萬治郎

追而監查役補缺選擧ノ結果松本新太氏當選就任セリ

避雷針專門
五月電機商會
大阪市北區空心町二丁目一九
電話堀川四三九八番

堀井謄寫版
一般輸出入業
最新發賣
三元式
創業明治二十七年
發賣元　東京市神田區鍛冶町
堀井謄寫堂本店
略稱　堀井本店
電話 [illegible]
支店　上海・漢口・天津・京城

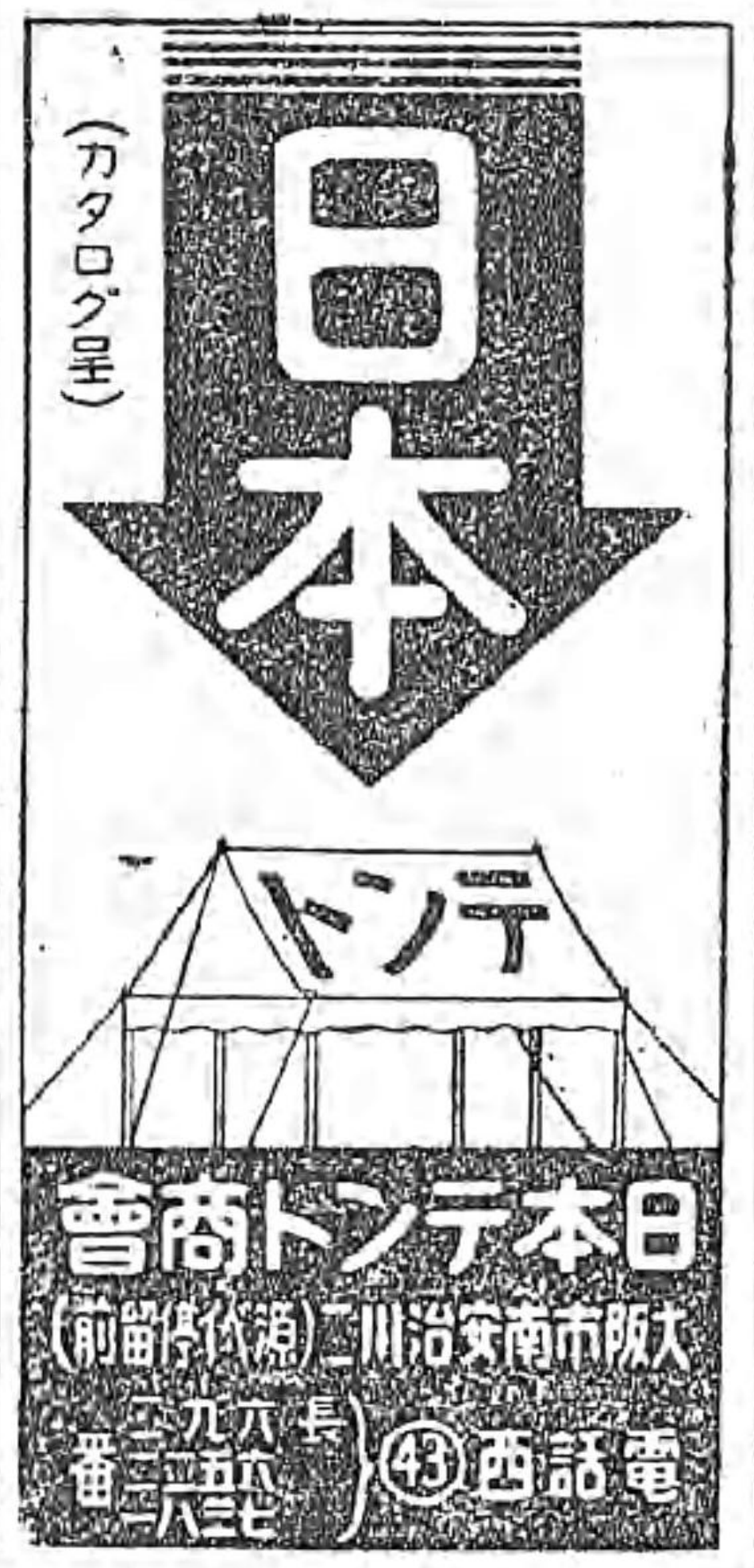
公告

昭和十三年五月拾壹日株主總會ニ於テ商號ヲ後記ノ通リ變更シ取締役ヲ改選サレ候ニ就テハ新取締役ニ於テ帳簿整理可仕ニ付本社ニ對シテ債權ヲ有セラルル方ハ來ル昭和十三年六月二十日迄ニ其旨御申出相成度候若シ同期日迄ニ御申出無之節ハ債權無之者トシテ處理可仕候條此段定款ノ規定ニ依リ公告候也

昭和十三年五月二十一日

東京市大森區雪ヶ谷町三丁目千三百三十九番地

舊稱　新潟産業株式會社
新稱　杉峠金山株式會社



日本
（カタログ呈）
テント
日本テント商會
大阪市南安治川二（[illegible]停留前）
電話西㊸ [illegible]

第3414号 本文

內閣情報部編纂

週報

五月廿五日發行

第八十四號
增頁號

○徐州大包圍戰……陸軍省新聞班

○事變下に海軍記念日を迎へて……海軍省海軍軍事普及部

○支那の鐵道……鐵道省

○日獨靑少年團の交驩……文部省

—（國際時事解說）—

○南支の貟港廈門を語る……外務省情報部

定價

一部　五錢

年極（前金）二圓四十錢（送料不要）

○一ケ年未滿配送御希望の方は一部五錢の割合にて前金を添へ御申込み下さい

○一ケ年分前金にて御申込みの方へ週報（保存用）綴込表紙贈呈

申込所

內閣印刷局直賣所
東京市麴町區大手町
振替東京一九〇〇〇

東都書籍株式會社
東京市神田區神保町一ノ三
振替東京九三九〇

全國各地官報販賣所

各書店・驛賣店

發行所

內閣印刷局

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

學說判例問題法理　心身鍊磨の最高指標

前司法大臣　林頼三郎先生題（公私）
法學博士　鵜澤總明先生序（公）
元大審院長　横田秀雄先生序（私）
法學博士 辯護士　島津嘉孝先生著

公法要論　全

公法・私法の最高權威!!!

私法要論　全

◇重要なる學說、判例問題等洩れなく輯錄し法理は順序を逐ふて理論的に之れを論じ盡せる他に類例なき新著。

◇公法要論　登載法（憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、民事訴訟法、破産法、以上六法）

◇私法要論　登載法（民法、商法、手形法、小切手法、以上四法）

◇各冊數十卷數萬頁の量を千百頁前後に壓縮せし天下無比の名著

◇官衙・學校・會社・官公吏・國家試驗受驗者・學徒・法曹・重役・敎育家・軍人・名譽職絕對必備書

◇菊大判總クロース製
◇用紙上質千百頁前後
定價各冊金拾圓也　書留送料（內地・三〇錢 外地・八〇錢）

進呈　月賦販賣　內容見本　取扱

精神と身體を鍛錬して長期御奉公!!!

空手研究社主幹
仲宗根源和著

空手道大觀

◇空手道は最も理想的鍊膽術！
◇空手道は最も理想的强健法！
◇空手道は最も理想的護身術！
◇空手道は最も理想的長命法！
◇空手道は男女誰でも出來る！
◇空手道は一人で稽古出來る！
◇空手道稽古は朝夕十分間宛！
◇一見一讀初心者でも出來る！

四六倍大判和裝美本函入
五號總振假名付印刷鮮明
口繪二百個挿繪千三百個
定價金七圓也
書留送料內地三〇錢　外地八〇錢

武道極意物語

◇武道は日本精神の培養基！
◇武道は身心一如の鍛錬法！
◇武道極意は精神的の遺寶！
◇武道極意は即處世の極意！
◇本書は武道各流派の歷史！
◇本書は小說よりも面白い！
◇本書は誰にでも爲になる！
◇本書は家族全員の愛讀書！

菊判總クロース金文字入
五號十五行組五百數十頁
定價金參圓也
書留送料內地三〇錢　外地八〇錢

東京市・丸ノ內・有樂町
東京圖書株式會社
振替口座東京六〇五五六

定價　一ケ月 九十五錢　一部 五錢　一圓八十八錢（外國郵便ニ依ル地域）各送料共

廣告料　本公告 八ポイント一行 三十錢 九ポイント五錢增　一般廣告 八ポイント一行十四字詰 二十五錢

發行所　東京市麴町區大手町　內閣印刷局
電話丸ノ內三五一(九)　振替東京一九〇〇〇　發行課

（本書ノ大サハ國定規格Ａ４判）